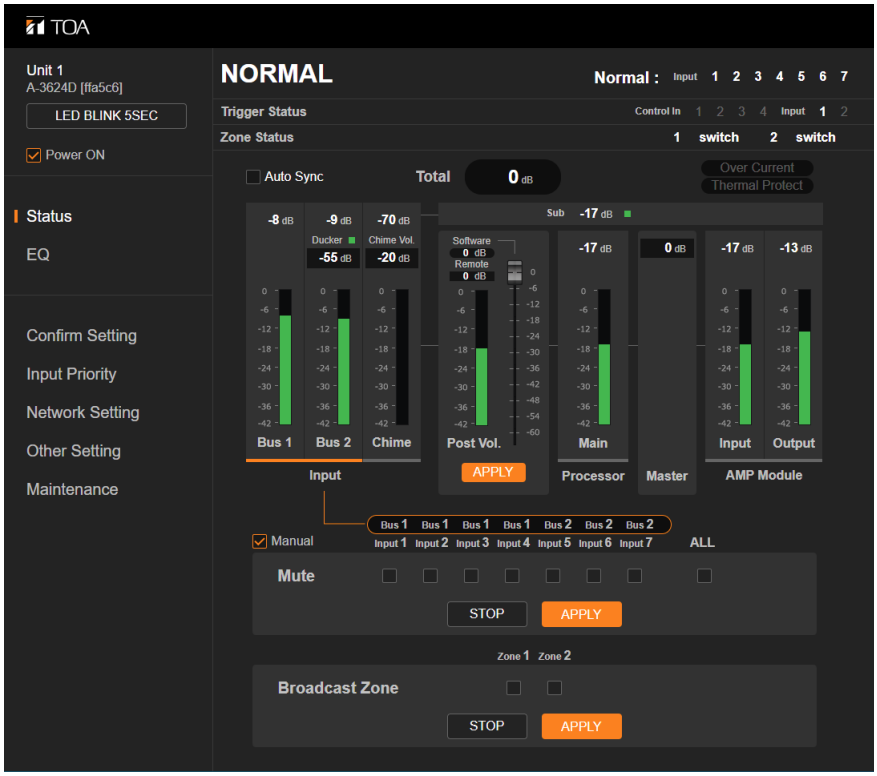
TOA

設定説明書

PA アンプ

A-3606D
A-3612D
A-3624D
A-3648D

（Ver. 1.06）



本書はファームウェアバージョンが 1.06.01 以降の機器に適用します。ファームウェアバージョンはブラウザーから確認できます。

このたびは、TOA PA アンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設定説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

設定概要 3

システム要件 3

使用上のご注意 4

ダッカー機能と優先放送機能 4

接続のしかた 5
- 任意の IP アドレスを設定しているとき 5
- IP アドレスを自動的に取得しているとき 6

画面の切り換えかた 8
- 各画面に共通の操作 8
- メニューバーの再表示のしかた 9
- 各画面の内容 10

Status 画面 11
- 各部の表示内容 11
- ソフトウェアマスターボリュームの設定 15
- マニュアルモード 16

EQ 画面 19

Confirm Setting 画面 21

Input Priority 画面 23
- 設定内容を表示しているとき 23
- 設定内容を編集しているとき 25

Network Setting 画面 27
- 編集した内容を本機へ送信する 29

Other Setting 画面 30

Maintenance 画面 32
- ファームウェアの更新のしかた 34
- ログファイルの出力のしかた 34
- 設定ファイルの入出力のしかた 35

優先放送機能 36
- 優先放送 36
- 優先放送のモード 36
- 緊急放送 37
- 通常放送 37
- 制御入力による優先放送、緊急放送時と電源オン／オフの関係 37
- 工場出荷時の設定 38
- 設定例と動作イメージ 39

スピーカーゾーン選択の動作イメージ 42

ブロックダイヤグラム 43

設定概要

パソコンを使用して、ブラウザー*1 から A-3600D シリーズ PA アンプ（以下、本機）に接続し、ネットワーク経由で以下の設定、表示などを行うことができます。

- ステータス表示*2 （☞ P. 11）
- EQ パラメーターの調整と表示 （☞ P. 19）
- 設定内容表示 （☞ P. 21）
- 入力優先の設定と表示 （☞ P. 23）
- ネットワーク設定 （☞ P. 27）
- アカウント設定 （☞ P. 27）
- その他の設定 （☞ P. 30）
- ファームウェア更新 （☞ P. 34）
- ログファイルの出力 （☞ P. 34）
- 設定ファイルの入出力 （☞ P. 35）

*1 動作検証済みのブラウザーについては、下記「システム要件」をお読みください。

*2 この画面で音量値を最小に設定すると、本機前面の音量調節つまみを最大に設定しても音が出ません。また、この画面で設定した音量値が最大設定値となり、本機の音量調節つまみではそれ以上に音量値を大きくすることはできません。
詳しくは、ソフトウェアマスターボリュームの設定（☞ P. 15）をお読みください。

システム要件

パソコンのソフトウェア動作条件は次の表のとおりです。このソフトが動作するハードウェアをお使いください。

OS	Windows 10 Pro（64bit） Windows 11 Pro（64bit）
ブラウザー	Microsoft Edge, Google Chrome, Mozilla Firefox

※ Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Google Chrome は、米国 Google LLC の米国およびその他の国における商標です。
※ Mozilla および Firefox は、米国 The Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標です。

メ　モ

本書では、Google Chrome の画面を使って各手順を説明しています。

使用上のご注意

- このシステムでは LAN（ローカルエリアネットワーク）を通して本機の設定･制御を行います。インターネットを経由して本機を設定・制御することはできません。
- 本機の電源の状態によって、一部動作が異なります。電源の状態と動作の関係については、次のとおりです。

電源の状態	LED の状態		通常放送		優先放送・緊急放送	Web アクセス
	⏻	CPU RUN	スピーカー出力から	録音出力から		
無通電	消灯	消灯	不可	不可	不可	不可
通電（電源オフ）	消灯	点灯	不可	不可	場合により可（一時的に電源オン状態になる）	可
通電（電源オン）	点灯	点灯	可	可	可	可

- ネットワーク使用時のセキュリティ対策について
  - ・お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
    不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・本機への不正アクセスを防ぐために、ユーザー ID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。設定方法など、詳細については P. 27「Network Setting 画面」を参照してください。
  - ・パスワードの管理には十分ご注意ください。

ダッカー機能と優先放送機能

本機には、特定の放送をしたときに、その放送以外の放送出力レベルを下げる機能として、ダッカー機能と優先放送機能の２つが備わっています。

ダッカー機能は、２つに分けた音声グループ間に優先を付ける機能です。BGM 放送中にマイク放送をするときに BGM の音量を自動的に下げるといった、簡易的な使いかたをするときに使用します。
ダッカー機能の詳細については、本機に付属の取扱説明書をお読みください。

優先放送機能は､放送内容に６段階の優先関係を付ける機能です。ミュートする音声を選択するなど､ダッカー機能に比べて複雑な使いかたをするときに使用します。
優先放送機能の詳細については、P. 36「優先放送機能」をお読みください。

接続のしかた

Network Setting 画面（☞ P. 27）で、任意の IP アドレスを設定しているときと、IP アドレスを自動的に取得する設定になっているときとで手順が異なります。

■ 任意の IP アドレスを設定しているとき

1 本機と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。

2 パソコンでブラウザーを起動し、アドレス欄に「本機の IP アドレス」を入力する。

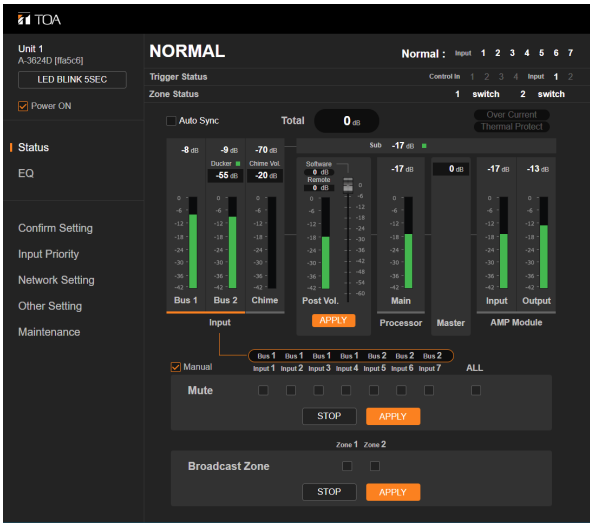
例：192.168.14.1
ログイン画面が表示されます。

メ　モ

工場出荷時の IP アドレスは、「192.168.14.1」に設定されています。

3 ユーザー名とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

Status 画面が表示されます。



ブラウザー画面左側のメニューバーで画面名をクリックして必要な画面に切り換えます。
（☞ P. 8「画面の切り換えかた」）

ご注意

- 同時に複数のパソコンから接続しないでください。
- 同時に複数のブラウザーから接続しないでください。

メ　モ

ユーザー名、パスワードの初期設定は次のとおりです。
ユーザー名： admin
パスワード： guest

■ IP アドレスを自動的に取得しているとき

ご注意

Windows 10 より前の OS の場合、この設定での使用はできません。

1 本機と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。

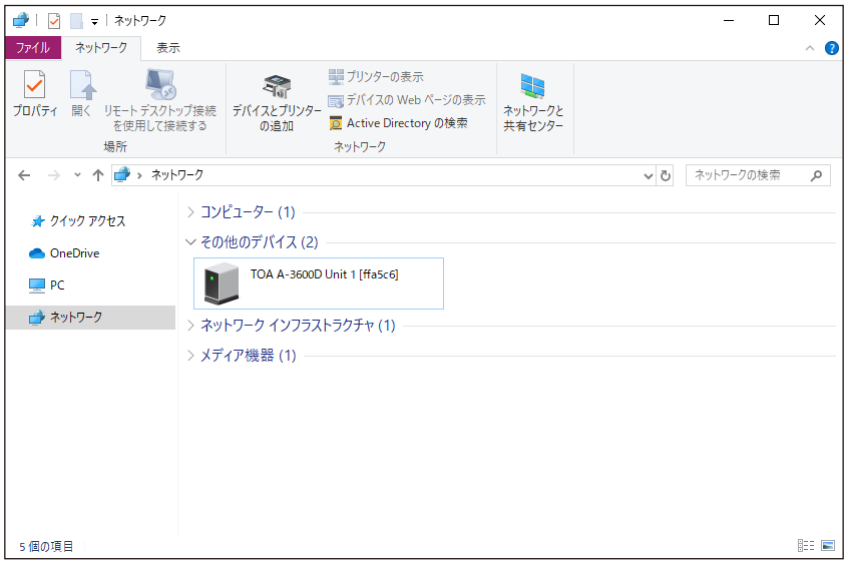
2 パソコンでエクスプローラー画面を開く。

3 画面左側のリストで「ネットワーク」をクリックして開く。

4 表示されている本機のアイコンをクリックする。

メ　モ

本機のアイコン名は、次のとおりになります。
TOA A-3600D + (ネットワーク設定で入力した機器名称)　＋　（本機の MAC アドレスの下 3 バイト）
例：　TOA A-3600D Unit1 [ffa5c6]



ログイン画面が表示されます。

5 ユーザー名とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

Status 画面が表示されます。

ブラウザー画面左側のメニューバーで画面名をクリックして必要な画面に切り換えます。
（☞ P. 8「画面の切り換えかた」）

ご注意

- 同時に複数のパソコンから接続しないでください。
- 同時に複数のブラウザーから接続しないでください。

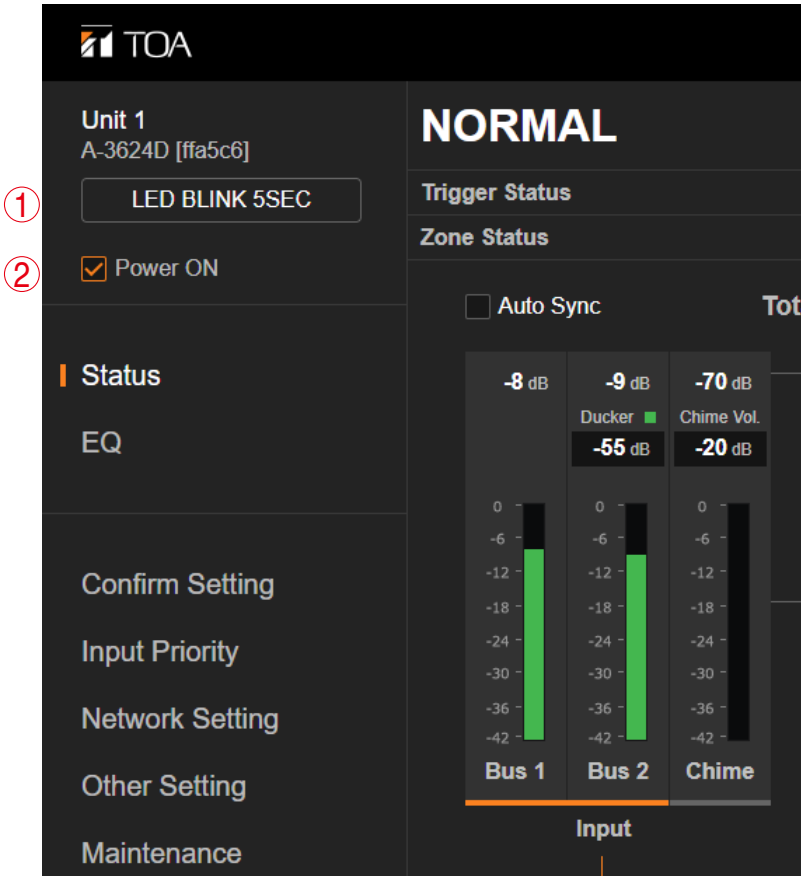
メ　モ

ユーザー名、パスワードの初期設定は次のとおりです。
ユーザー名： admin
パスワード： guest

画面の切り換えかた

本機にログイン（☞ P. 5）した後、ブラウザー画面左側のメニューバーで画面名をクリックして各画面に切り換えます。画面は６つあり、各画面で必要な設定や操作を行うことができます。

■ 各画面に共通の操作



① [LED BLINK 5 SEC］ボタン

ネットワークに複数の A-3600D シリーズ PA アンプを接続している場合に、アンプの識別を行いたいときにクリックします。

このボタンをクリックすると、現在ログインしている A-3600D シリーズ PA アンプのネットワーク接続確認表示灯が 5 秒間点滅します。

② Power ON（電源入）チェックボックス

本機の電源をオン／オフできます。

チェックを入れると、本機の電源がオンになり、チェックを外すと本機の電源がオフになります。

本機の電源が入っているときは、電源リモート出力端子がメイクされ、本機の電源が切れているときは、電源リモート出力端子がブレイクされます。

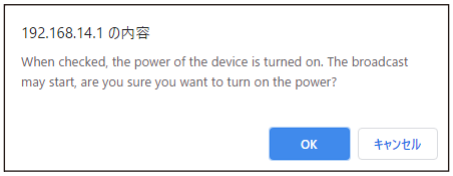
ご注意

優先放送中、緊急放送中は、チェックを入れたり外したりできません。（☞ P. 36「優先放送機能」）

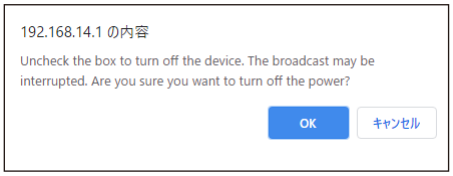
メ　モ

チェックボックスをクリックしたときに次のような確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。

［チェックを入れるとき］

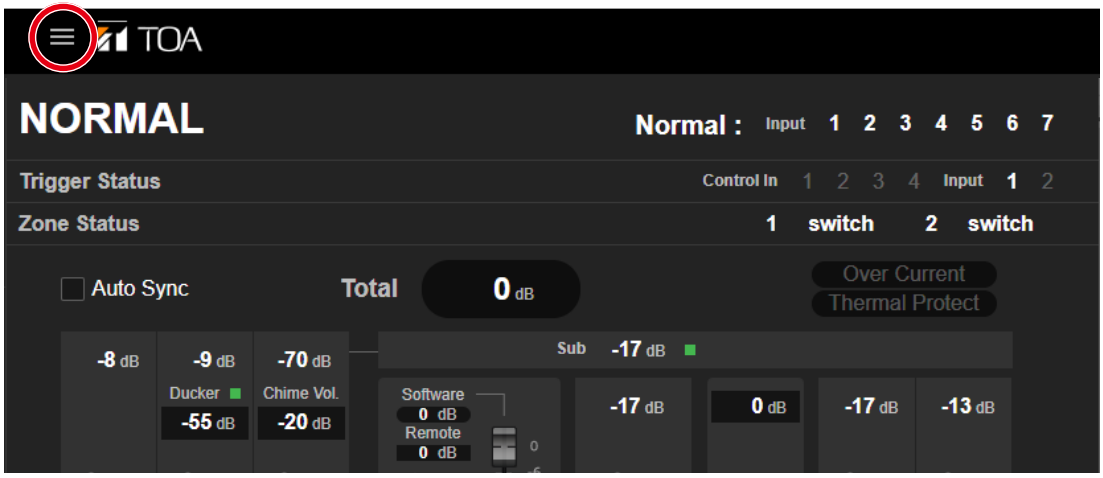


［チェックを外すとき］

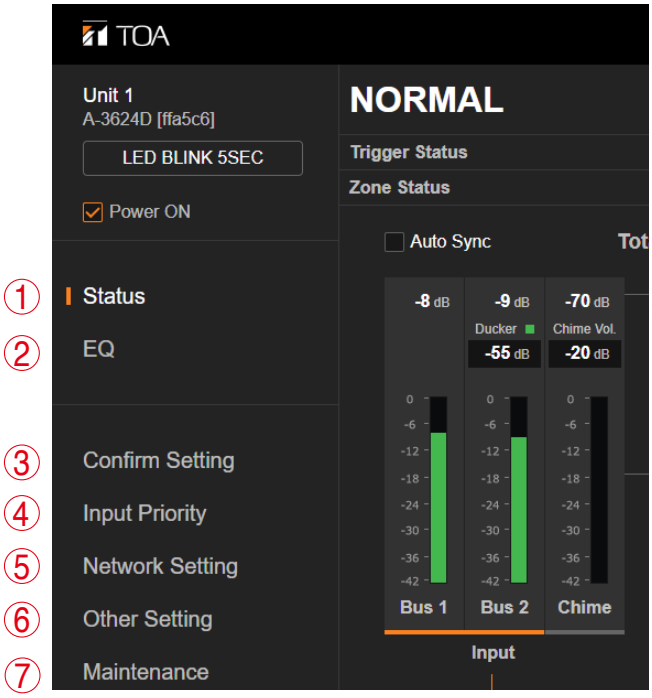


■ メニューバーの再表示のしかた

ブラウザー画面のサイズによっては、下記のように画面左側のメニューバーが表示されないことがあります。そのときは、画面左上のアイコンをクリックすると、メニューバーが再表示されます。



■ 各画面の内容

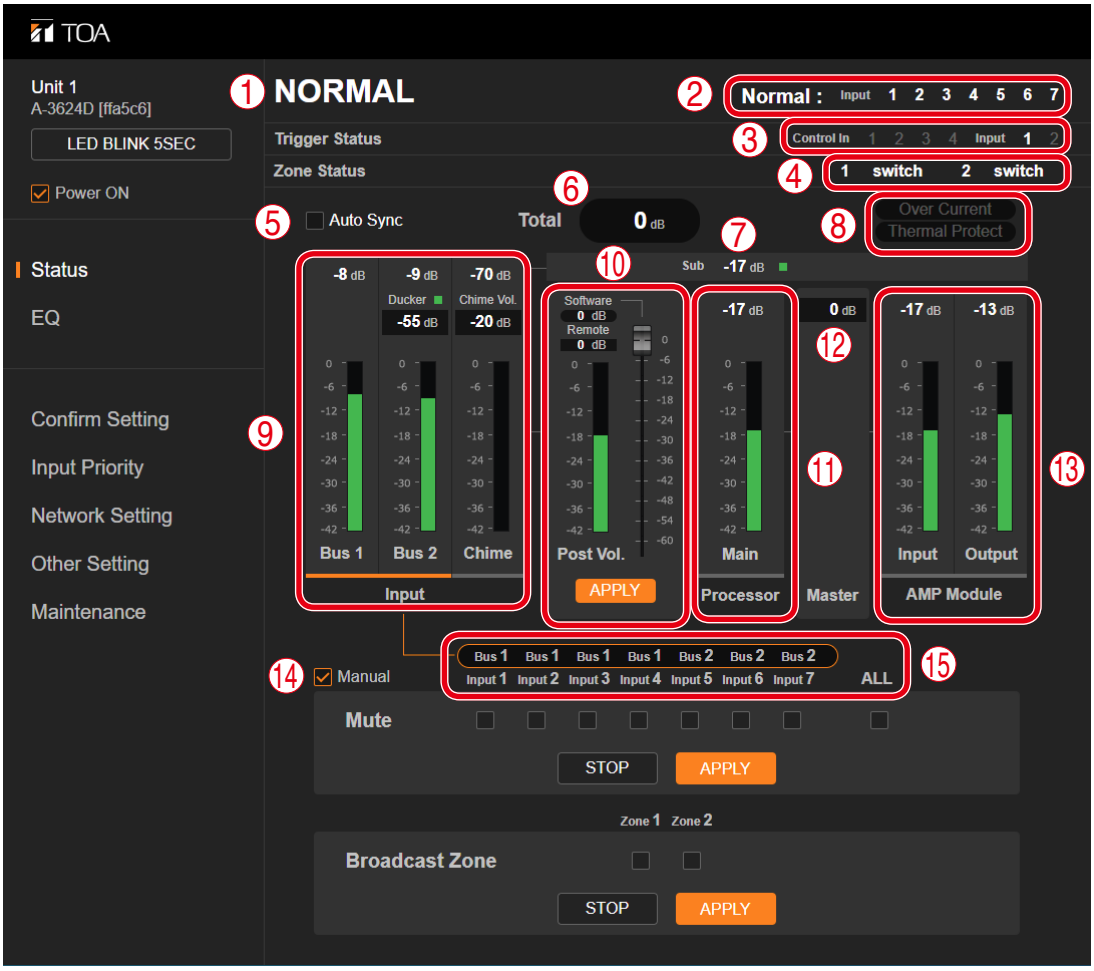


	名称	内容	参照ページ
①	Status	現在の放送状況が表示されます。 また、ソフトウェアマスターボリューム値の設定および標準モードとマニュアルモードの切り換えを行います。	次ページ
②	EQ	イコライザーのパラメーター設定を行います。また、FBS 機能（ハウリング抑制機能）の動作内容が確認できます。	P. 19
③	Confirm Setting	本機のスイッチの設定内容が表示されます。	P. 21
④	Input Priority	優先放送の設定内容が表示されます。また、優先放送の設定編集を行います。	P. 23
⑤	Network Setting	ネットワーク設定およびユーザーアカウント設定を行います。	P. 27
⑥	Other Setting	ソフトウェアマスターボリュームの設定値の保持、ゾーン制御方式の設定を行います。	P. 30
⑦	Maintenance	ファームウェアの更新およびログファイルの出力を行います。	P. 32

Status 画面

Status 画面では、現在の放送状況が表示されます。
また、ソフトウェアマスターボリュームの設定（☞ P. 15）およびマニュアルモードでの操作（☞ P. 16）を行います。

■ 各部の表示内容



① 状態表示

本機の状態が表示されます。
EMERGENCY ：緊急放送中
PRIORITY ：優先放送中
NORMAL ：通常放送中
POWER OFF ：電源オフ中
詳しくは、優先放送機能（☞ P. 36）をお読みください。

② 優先トリガー表示

起動しているトリガーの中で、最も優先度の高いトリガー名とそのミュート設定内容が表示されます。ハイライト表示されているのが放送される設定の入力です。
トリガーが何も入力されていないときは、通常放送（☞ P. 37）の設定が表示されます。
優先トリガーについて、詳しくは、優先放送機能（☞ P. 36）と Input Priority 画面（☞ P. 23）をお読みください。

③ トリガー状態

起動しているトリガーの番号がハイライト表示されます。

④ ゾーン選択状態

ゾーンの選択状況がハイライト表示されます。
選択されているゾーン出力から音声が出力されます。

本機前面のゾーン選択ボタンで選択されているとき	：switch
マニュアルモード（☞ P. 16）で選択されているとき	：protocol
ゾーン制御入力で選択されているとき	：control
制御入力 1 ～ 4 による緊急放送が行われているとき	：control [E]
選択されていないとき	：none

ご注意

緊急放送中はゾーン選択が無効になり、すべてのゾーンから放送されます。

⑤ Auto Sync（自動同期）チェックボックス

状態をリアルタイムで表示するときにチェックを入れます。チェックを入れておくと、本機の状態が変化したときに自動的に表示が更新されます。チェックを入れていない場合は、画面表示した際の本機の状態が表示され、本機の状態が変化しても画面はそのままです。

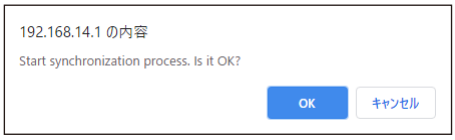
ご注意

画面を切り換えたり、ブラウザーを終了したりすると、自動的にチェックが外れます。

メ　モ

チェックボックスをクリックしたときに次のような確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。

［チェックを入れるとき］



［チェックを外すとき］

⑥ ボリューム合計値表示

ボリュームの設定値の合計が表示されます。（☞ P. 15「ソフトウェアマスターボリュームの設定」）

⑦ サブ出力レベル表示

プロセッサーのサブ出力レベルが表示されます。（☞ P. 43「ブロックダイヤグラム」）
数値の右の表示はサブ出力レベルが –42dB 以上の場合は緑色に、それ未満の場合は黒色になります。

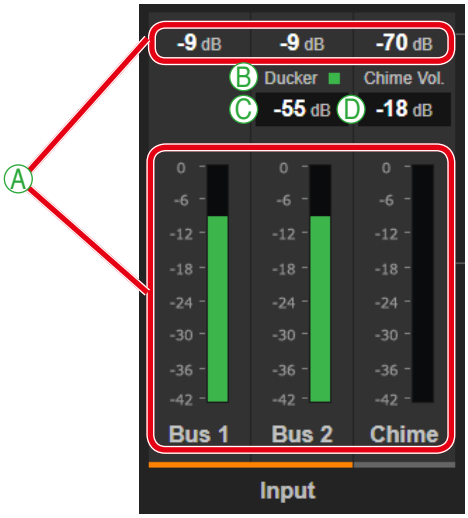
⑧ エラー表示

本機内で下記の異常が発生したときに赤く表示されます。

Over Current　：スピーカー出力に過電流が流れ、過電流保護回路が作動しているときに表示されます。
Thermal Protect ：温度保護回路が作動しているときに表示されます。

⑨ 入力表示部

BUS 1、BUS 2、チャイムの動作状態と設定内容が表示されます。



A. 動作状態表示

BUS 1、BUS 2、チャイムの動作状態を、数値と緑色のバーで表示します。

B. ダッカー処理中表示

ダッカー処理が行われているときは緑色に、ダッカー処理が行われていないときは黒色になります。

C. ダッカー値表示

本機で設定したダッカー値を表示します。

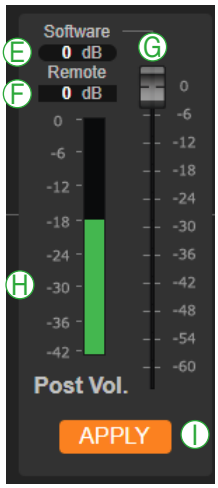
D. チャイム音量表示

本機で設定したチャイム音量値を表示します。

⑩ ソフトウェアマスターボリューム／リモートマスターボリューム

ソフトウェアマスターボリューム値の設定を行い、設定した内容を表示します。（☞ P. 15「ソフトウェアマスターボリュームの設定」）

また、リモートマスターボリュームの設定を表示します。



E. ソフトウェアマスターボリューム表示

ソフトウェアマスターボリューム値が数値で表示されます。

F. リモートマスターボリューム表示

リモートマスターボリューム値が数値で表示されます。

G. スライダー
ソフトウェアマスターボリュームの設定を行います。

ご注意

スライダーを操作しただけでは本機の設定は変わりません。設定を本体に適用するには APPLY ボタン（I）をクリックしてください。Auto Sync 中でも同様です。

H. Post Vol. レベルメーター
ソフトウェアマスターボリュームとリモートマスターボリューム、EQ 処理で調節された信号レベルが表示されます。

I. APPLY（適用）ボタン
ソフトウェアマスターボリュームの設定値を本体に適用するときにクリックします。

⑪ メイン出力レベル表示
プロセッサーのメイン出力レベルが表示されます。（☞ P. 43「ブロックダイヤグラム」）

⑫ 主音量設定値
本機の主音量調節つまみの設定値を表示します。

⑬ アンプモジュール I/O 表示
本機のアンプモジュールの入出力レベルを表示します。（☞ P. 43「ブロックダイヤグラム」）

⑭ マニュアルチェックボックス
標準モードとマニュアルモードを切り換えます。（☞ P. 16「マニュアルモード」）

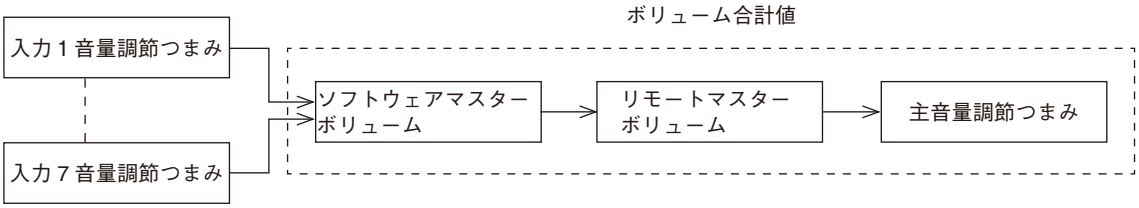
⑮ 送り先設定表示
各音声入力が、BUS 1、BUS 2 のどちらに送られているか表示します。送り先が各音声入力名の上部に表示されます。

■ ソフトウェアマスターボリュームの設定

● ボリュームの調節

本機では、ボリューム値を次の４段階で調節できます。それぞれのボリュームで調節された値が合計されます。

- 入力１～７音量調節つまみ
- ソフトウェアマスターボリューム
- リモートマスターボリューム
- 主音量調節つまみ

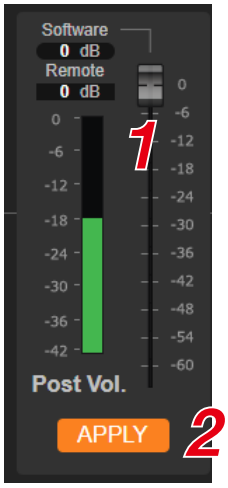


ご注意

いずれかのボリュームが最小になっていると、ほかのボリュームを最大に設定しても音が出ません。ソフトウェアマスターボリュームまたはリモートマスターボリュームで調節する場合は、あらかじめ主音量調節つまみで音量を調節してください。主音量調節つまみで調節されたレベルが調節できる最大レベルです。
緊急放送に設定すると、主音量調節つまみ、ソフトウェアマスターボリューム、リモートマスターボリュームの設定値に関わらず、最大音量で放送されます*。また、チャイムも最大音量で放送され、EQ と、高音調節つまみと低音調節つまみの特性がフラットになります。
緊急放送中は前面の緊急放送中表示灯が点灯し、緊急制御出力端子がメイクされます。

* 各入力音量調節つまみは有効です。

● ソフトウェアマスターボリュームの調節のしかた



1 スライダーで音量を調節する。

スライダーの位置に応じて、表示が変化します。

2 APPLY ボタンをクリックする。

設定した数値が本機に適用されます。

ご注意

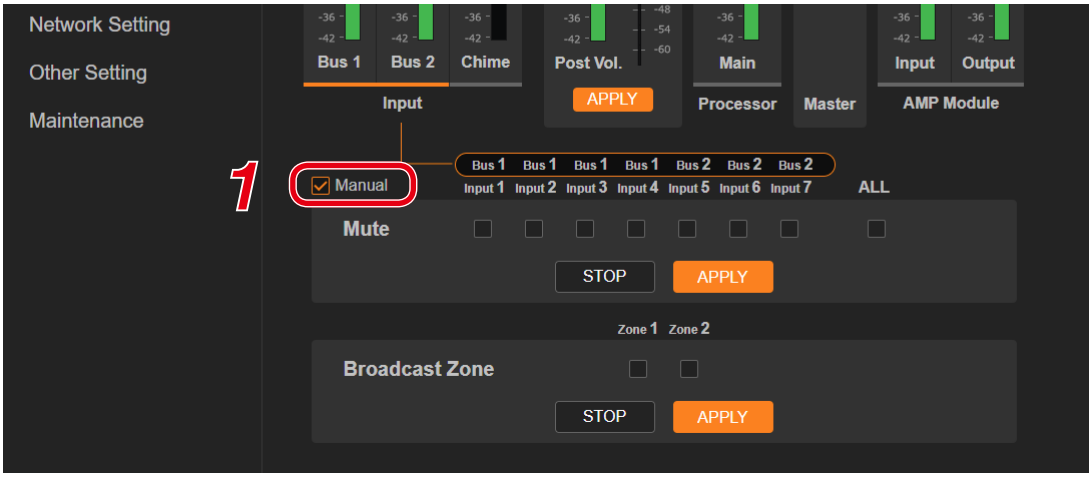
APPLY ボタンをクリックしないと本機に適用されません。Auto Sync 中でも同様です。

■ マニュアルモード

● マニュアルモードとは

本機では、制御入力や音声検知を使用せずに、マニュアルで音声入力をミュートすることができます。
制御入力や音声検知をトリガーとして使用して優先放送を行うモードを標準モード、制御入力や音声検知をトリガーとして使用せずにブラウザーから音声入力をミュートして優先放送を行うモードをマニュアルモードと呼びます。
マニュアルモードは、本機の動作確認をするときなどに使用します。
また、マニュアルモードではマニュアルで放送するゾーンを選択することもできます。（☞ P. 18「マニュアルモードでゾーンを選択する」）

● 標準モードとマニュアルモードの切り換え



1 マニュアルチェックボックスにチェックを入れる。

確認ダイアログが表示されます。

2 OK ボタンをクリックする。

マニュアルモードに切り換わり、ミュートする音声を選ぶチェックボックスが表示されます。

メ　モ

チェックを外すと標準モードに切り換わります。

● マニュアルモードで音声入力をミュートする

1 ミュートしたい音声入力のチェックボックスにチェックを入れる。

すべてをミュートしたいときは、ALL チェックボックスにチェックを入れます。
同様に、すべてをミュートしないようにするときは、ALL チェックボックスのチェックを外します。

2 APPLY ボタンをクリックする。

本機で、チェックされた音声入力がミュートされます。

メ　モ

APPLY ボタンをクリックするまでは通常放送中で、Normal（通常放送）の設定に従ってミュートされます。

3 ミュートを解除するときは、STOP ボタンをクリックする。

本機で、チェックされた音声入力のミュートが解除され通常放送中になり、Normal 設定に従ってミュートされます。

● マニュアルモードでゾーンを選択する

1 選択したいゾーンのチェックボックスにチェックを入れる。

2 APPLY ボタンをクリックする。

チェックボックスにチェックを入れたゾーンが選択されます。

メ　モ

ゾーンが選択された状態で次の操作を行っても、選択は解除されません。ブラウザーでの選択操作が優先されます。

・本機前面の該当するゾーン選択ボタンを押す。

・本機後面の該当するゾーン制御入力端子を使用してゾーンを選択する。

3 選択を解除したいときは、STOP ボタンをクリックする。

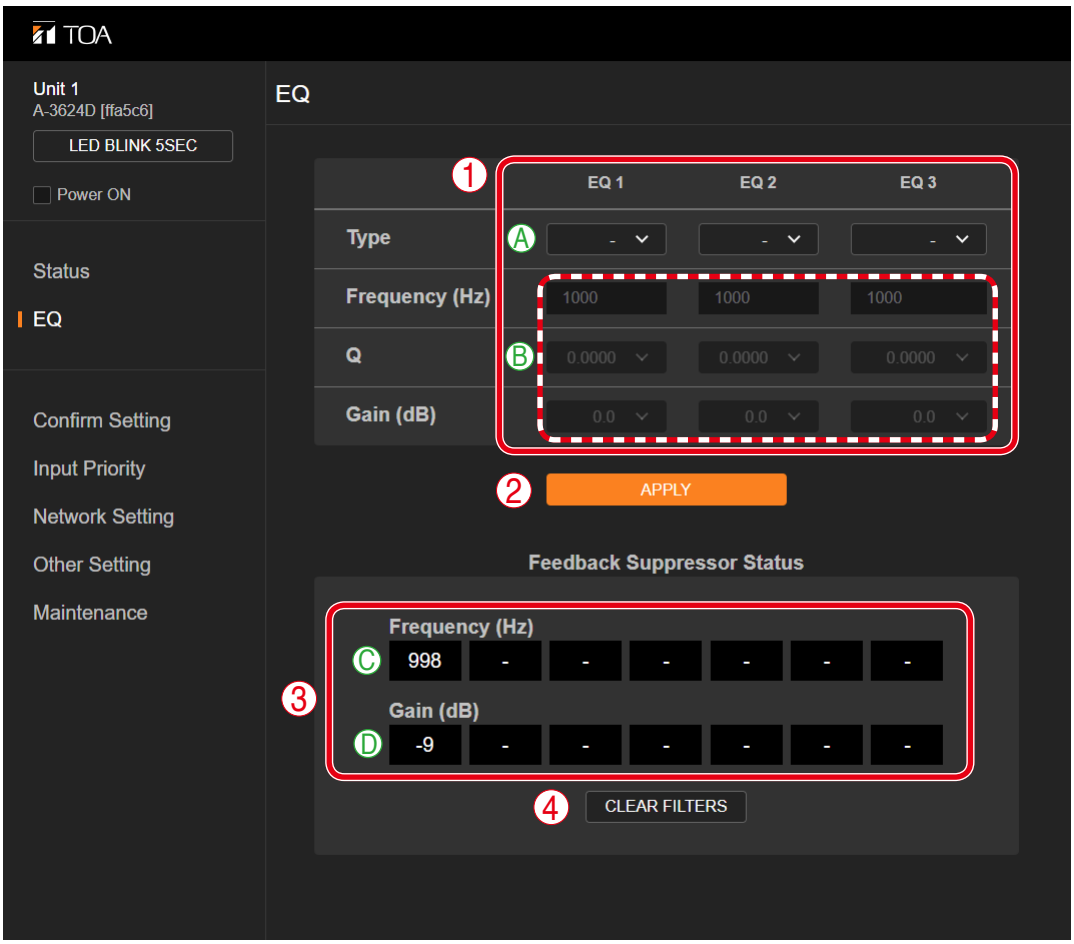
選択が解除されます。

メ　モ

選択が解除されても、チェックボックスのチェックはそのままです。

EQ 画面

EQ 画面では、イコライザー（3 ポイント）のパラメーター設定ができます。また、FBS 機能の動作内容が確認できます。



① PEQ/HPF/LPF 設定部

PEQ/HPF/LPF のパラメーターを設定します。

	名称	内容
A	PEQ/HPF/LPF 選択	設定する項目を PEQ、HPF、LPF、—（使用しない）、から選択します。 工場出荷時の設定：　—（使用しない）
B	パラメーター設定	Frequency（周波数）、Q 、Gain（ゲイン）のパラメーターを設定します。設定範囲は下記別表のとおりです。 ご注意 PEQ/HPF/LPF 選択で HPF または LPF を選択した場合は、Gain は設定できません。

［設定範囲］

設定項目	設定内容	設定範囲
PEQ	Frequency（Hz）	20 ～ 20000
	Q	0.267 ～ 69.249
	Gain（dB）	−15.0 ～ 15.0、0.1 dB ステップ
HPF	Frequency（Hz）	20 ～ 20000
	Q	0.5 ～ 2.563
LPF	Frequency（Hz）	20 ～ 20000
	Q	0.5 ～ 2.563

② APPLY（適用）ボタン

設定した内容を本機に送信するときにクリックします。

③ FBS 機能（ハウリング抑制機能）表示部

本機は FBS 機能を内蔵しており、常時動作しています。ハウリングポイントが発生するたびに、発生した周波数のゲインを下げてハウリングを消します。
この表示部には、現在の FBS 機能の動作状況が表示されます。

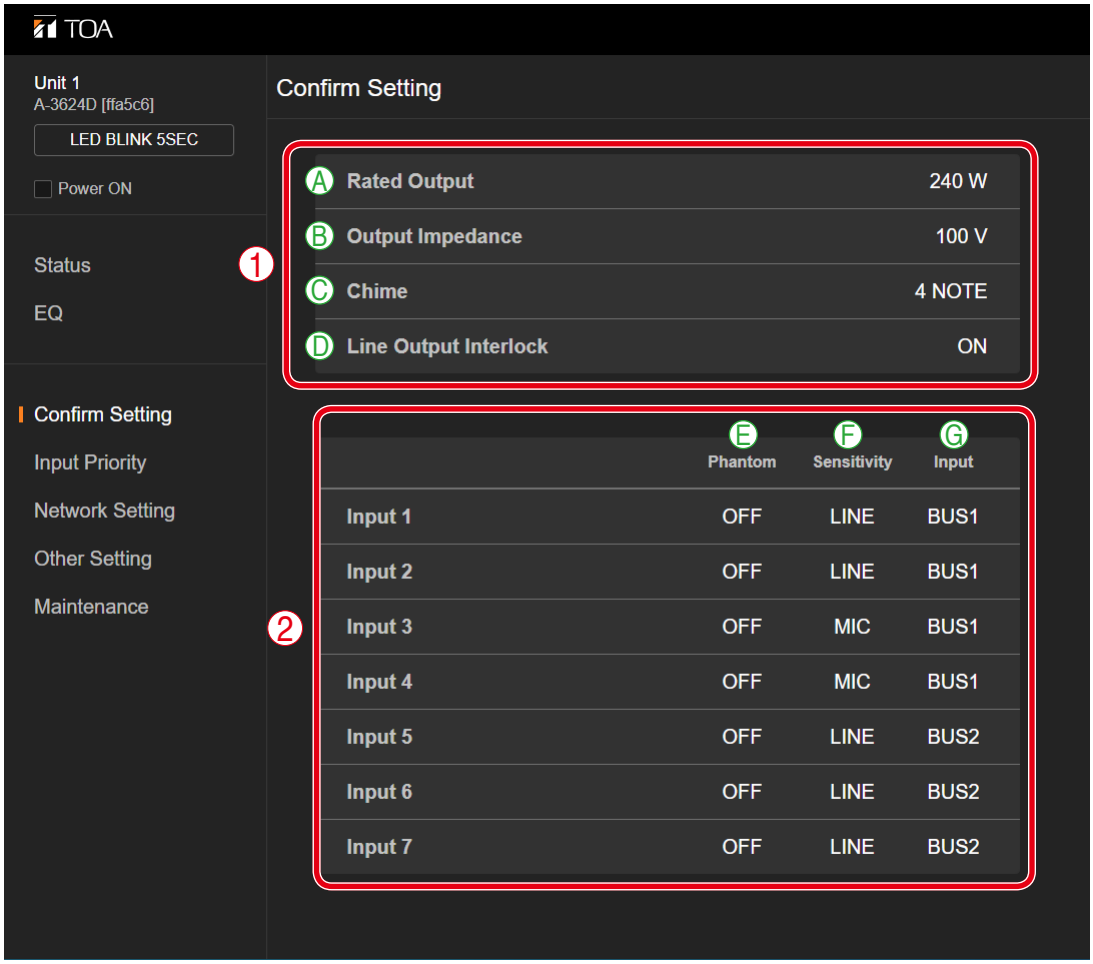
	名称	内容
C	Frequency（Hz）	ハウリングが発生した周波数が、左の欄から発生した順に 7 つまで表示されます。 8 つ目が発生すると、最初に発生した周波数に上書きされます。
D	Gain（dB）	ハウリングが発生した周波数ごとに、ハウリングを消すために下げた Gain が表示されます。

④［CLEAR FILTERS］ボタン

クリックするとハウリングを抑制しているポイントがすべてクリアされ、FBS 機能表示部に表示された内容が消去されます。

Confirm Setting 画面

Confirm Setting 画面では、本機の設定内容が表示されます。



① 本体設定

本機の設定内容が表示されます。

	名称	内容
A	Rated Output	本機の定格出力 W 数が表示されます。
B	Output Impedance	設定された出力インピーダンスが表示されます。 ［設定範囲］ 100 V ：ハイインピーダンス（工場出荷時の設定） 8 ohm ：ローインピーダンス（A-3606D の場合） 4 ohm ：ローインピーダンス（A-3612D、A-3624D、A-3648D の場合）
C	Chime	設定されたチャイム音の種類が表示されます。 ［設定範囲］ 4 Note ：4 音チャイム（工場出荷時の設定） 2 Note ：2 音チャイム 1 Note ：1 音チャイム None ：使用しない
D	Line Output Interlock	ライン連動スイッチの設定が表示されます。 ［設定範囲］ OFF：ゾーン選択にかかわらず、ライン出力端子 1、2 から信号が出力されます。（工場出荷時の設定） ON ：ゾーン 1 が選択されているときはライン出力端子 1 から、ゾーン 2 が選択されているときはライン出力端子 2 から信号が出力されます。

②入力設定

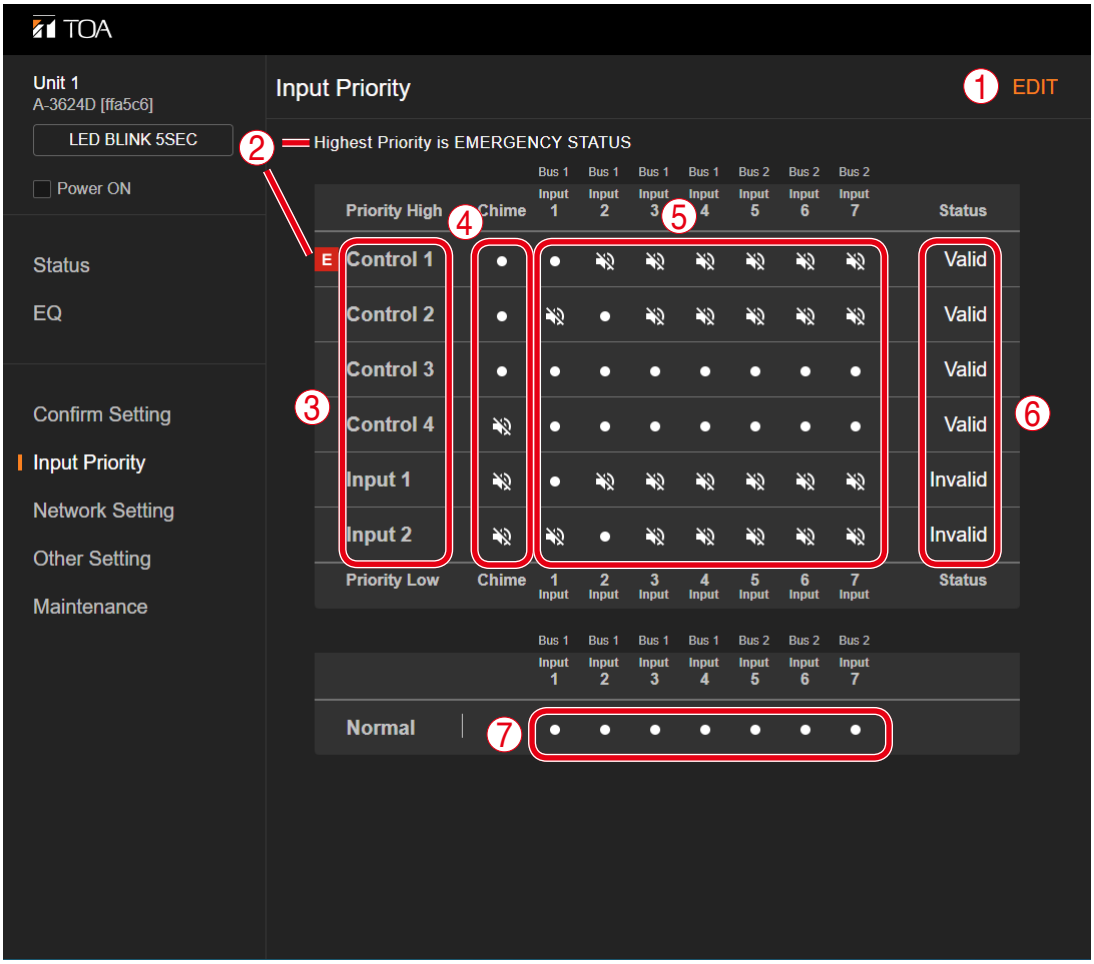
本機の各入力の設定内容が表示されます。

	名称	内容
E	Phantom	ファンタム電源の使用についての設定が表示されます。 ［設定範囲］ OFF ：使用しない（工場出荷時の設定） ON ：使用する メ モ INPUT 5、6、7 は OFF 固定です。
F	Sensitivity	入力感度が表示されます。 ［設定範囲］ LINE：−20 dB MIC ：−60 dB ［工場出荷時の設定］ INPUT 1、2 ：MIC INPUT 3、4 ：MIC（固定） INPUT 5、6 ：LINE INPUT 7 ：LINE（固定）
G	Input	入力の音声を BUS 1 か BUS 2 のどちらに送るかが表示されます。 ［設定範囲］ BUS 1、BUS 2 ［工場出荷時の設定］ INPUT 1 ～ 4：BUS 1（固定） INPUT 5、6 ：BUS 2 INPUT 7 ：BUS 2（固定）

Input Priority 画面

Input Priority 画面では、優先放送機能の設定内容が表示されます。また、設定内容を編集できます。
（☞ P. 36「優先放送機能」）

■ 設定内容を表示しているとき



①EDIT（編集）ボタン
設定内容を編集するときにクリックします。（☞ P. 24「編集画面への切り換えかた」）
クリックすると、画面が編集可能な状態になります。（☞ P. 25「設定内容を編集しているとき」）

②緊急放送設定表示
最も優先度の高い優先放送が緊急放送に設定されている場合、この位置に「Highest Priority is EMERGENCY STATUS」および E と表示されます。（☞ P. 25「設定内容を編集しているとき」）

③トリガー名（☞ P. 36「優先放送機能」）
トリガーになる制御入力または音声検知の名称が 6 つ表示されます。
表示される名称は次のとおりです。
- Control 1 ～ 4
- Input 1、2

行の上の方から優先度が高い順に表示されます。

④チャイム音設定

トリガーになる制御入力が入力されたときにチャイム音を鳴らすかどうかの設定が表示されます。

鳴らすとき　　：●
鳴らさないとき　　：🔇

⑤ミュート設定

トリガーになる制御入力または音声入力が入力されたときに、各音声入力をミュートするかどうかの設定が表示されます。

ミュートしないとき：●
ミュートするとき　：🔇

⑥Status（状態）表示

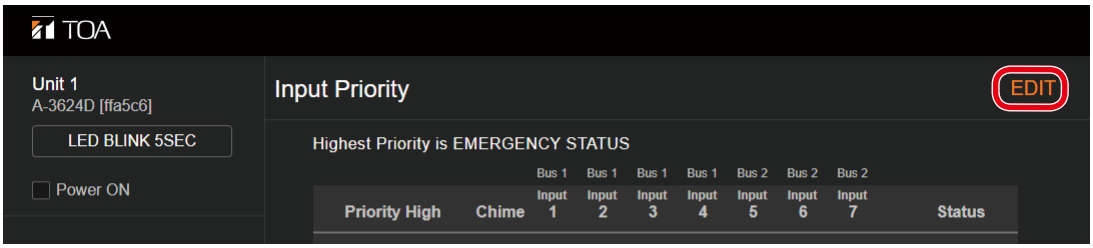
トリガーの Valid（有効）/Invalid（無効）が表示されます。Invalid に設定されているトリガーは、入力されても優先放送機能は働きません。

⑦Normal（通常放送）表示

トリガーが何も入力されていないとき（通常放送）のミュート設定が表示されます。

ミュートしないとき：●
ミュートするとき　：🔇

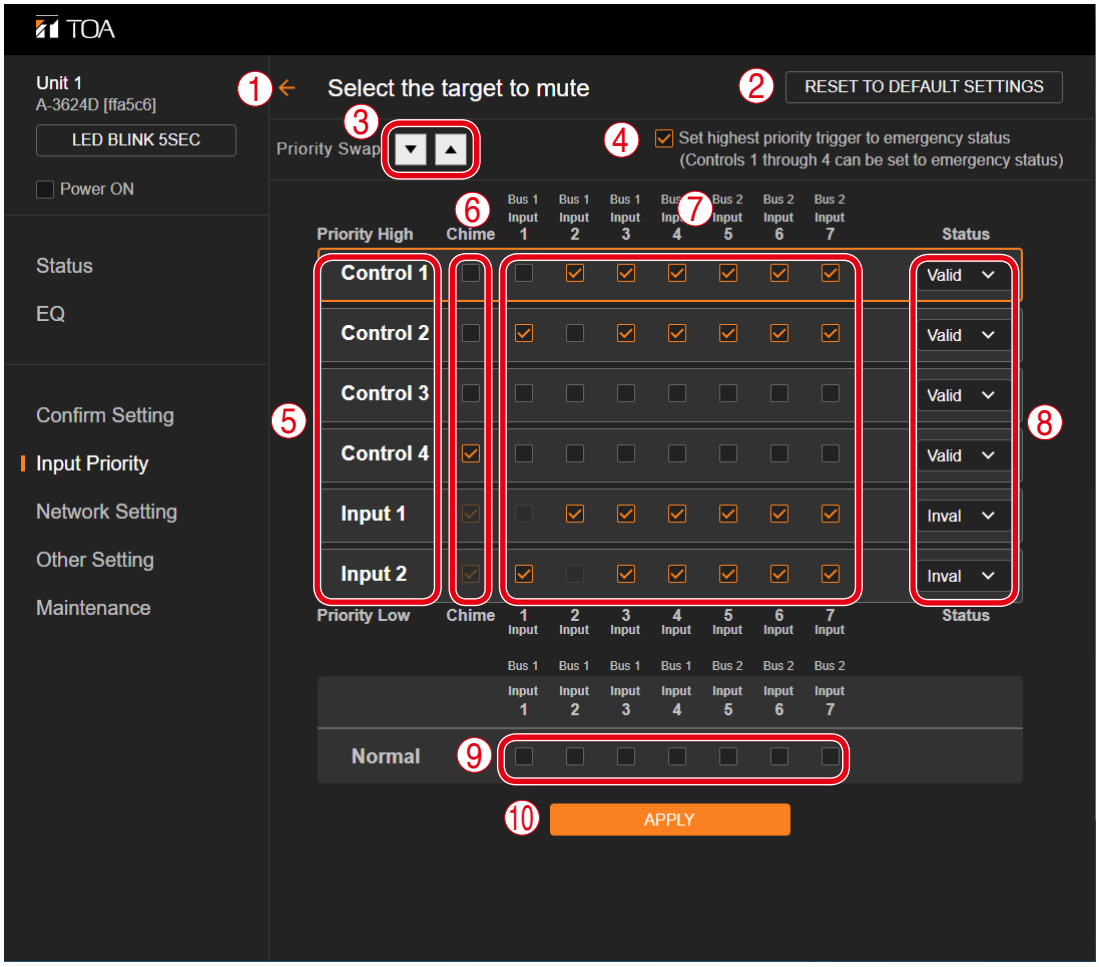
● 編集画面への切り換えかた



手順：EDIT ボタンをクリックする。

画面が編集可能な状態になります。

■ 設定内容を編集しているとき



① 戻る矢印

この矢印をクリックすると、設定内容を表示している状態に戻ります。（☞ P. 23「設定内容を表示しているとき」）

② [RESET TO DEFAULT SETTINGS] ボタン

設定した内容を工場出荷時の設定に戻すときにクリックします。

③ 優先度設定ボタン

トリガーの優先度を変更するときクリックします。
優先度を変更したいトリガー名⑤をクリックして指定し、このボタンをクリックすると、優先度が変更できます。

優先度を高くしたいとき：▲をクリックする
優先度を低くしたいとき：▼をクリックする

④ 緊急放送設定チェックボックス

最も優先度の高い優先放送を緊急放送に設定するときにチェックを入れます。

⑤ トリガー名

ご注意

音声検知による優先放送は、緊急放送に設定できません。

トリガーになる制御入力または音声検知の名称が 6 つ表示されます。（☞ P. 36「優先放送機能」）
表示される名称は次のとおりです。

- Control 1 ～ 4
- Input 1、2

上の行から優先度が高い順に表示されています。優先度を変更したいときは、優先度設定ボタン③を使用します。

⑥ チャイム音設定チェックボックス
トリガーになる制御入力が入力された場合に、チャイム音を鳴らさないときにチェックを入れます。

ご注意
トリガーが音声検知の場合は、チャイムが音声に重ならないようにするために、チャイムは常に無効の設定になっています。そのため、トリガーが音声検知の Input 1、Input 2 のチェックボックスは、チェックが入った状態から変更できません。

⑦ ミュート設定チェックボックス
トリガーになる制御入力または音声入力が入力された場合に、各音声入力をミュートするときにチェックを入れます。

⑧ Status（状態）設定プルダウンメニュー
トリガーが入力された場合に、優先放送機能を有効にするか無効にするかを設定します。無効に設定されているトリガーは、入力されても優先放送機能は働きません。
有効にする：Valid
無効にする：Invalid

⑨ Normal（通常放送）設定チェックボックス
トリガーが何も入力されていない場合（通常放送）に、各音声入力をミュートするときにチェックを入れます。

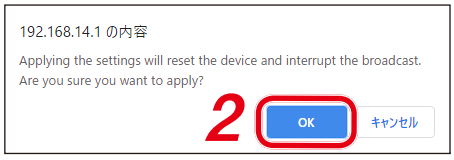
⑩ APPLY（適用）ボタン
設定した内容を本機に送信するときにクリックします。
クリックすると、本機が再起動します。

● 編集した内容を本機へ送信する

すべての編集が完了したら、設定内容を本機へ送信します。

ご注意
設定を適用すると、本機は一旦リセットされ、リセット中は放送が中断されます。

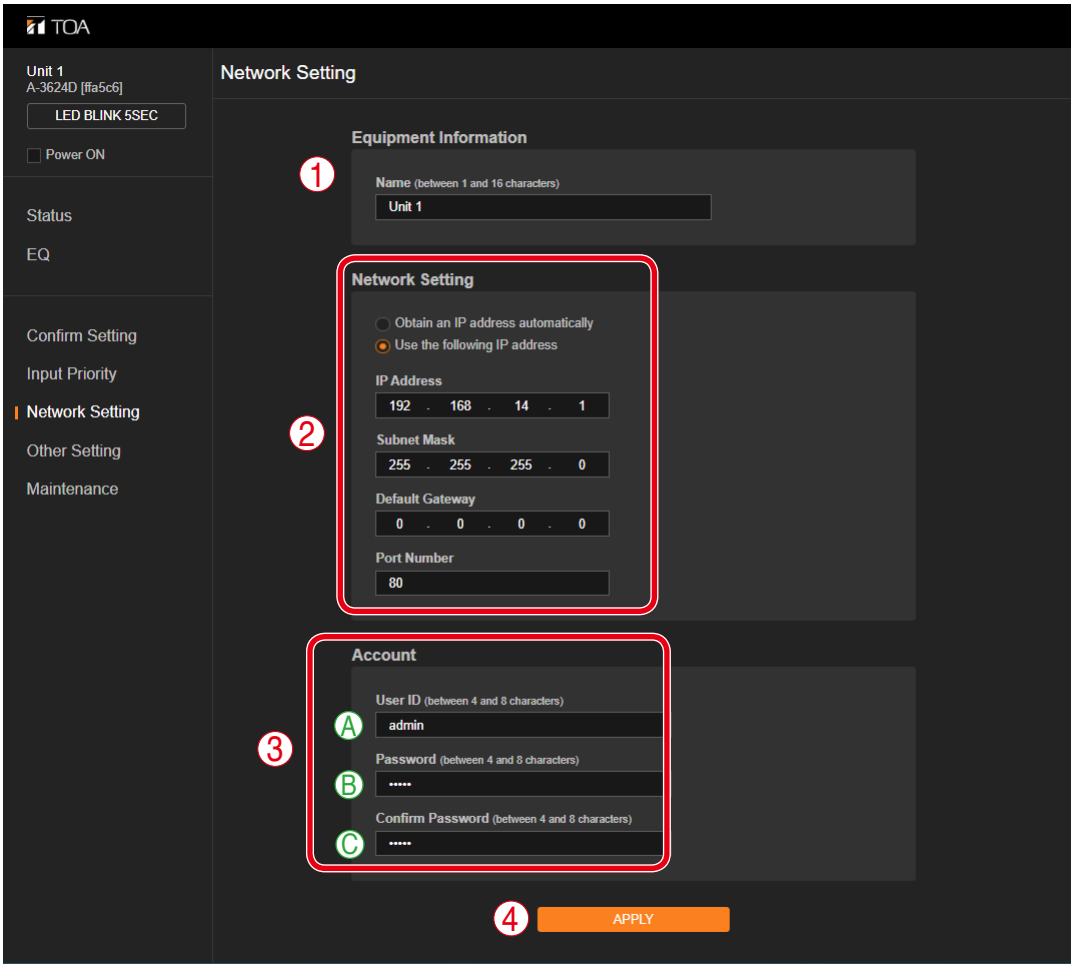
1 APPLY ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



2 OK ボタンをクリックする。
編集した内容が本機に適用されます。

Network Setting 画面

Network Setting 画面では、ネットワーク設定およびユーザーアカウント設定を行います。



① Equipment Information（機器情報）

機器名称を 1 ～ 16 文字で入力します。
工場出荷時の設定：　Unit 1

ご注意

- 機器名称は大文字小文字を区別します。
- 次の記号とスペースが使用できます。

. - _

② Network Setting（ネットワーク設定）

IP アドレスの設定を行います。

IP アドレスを自動的に取得するとき：
「Obtain an IP address automatically」ラジオボタンをクリックします。

ご注意

Windows 10 より前の OS の場合、この設定での使用はできません。

任意の IP アドレスを設定するとき：
「Use the following IP address」ラジオボタンをクリックし、「IP Address」「Subnet Mask」「Default Gateway」「Port Number」を入力します。

ご注意

設定した内容を忘れると、本機にログインできなくなります。メモを取るなどの対策をしてください。

メ　モ

- 設定できるポート番号は、80、1024 ～ 65535 です。
- 「デフォルトゲートウェイ」を使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

③ Account（ユーザーアカウント設定）

ユーザーアカウントを設定します。

	名称	説明
A	User ID	ユーザー名を 4 ～ 8 文字で入力します。
B	Password	パスワードを変更するときに、新しいパスワードを 4 ～ 8 文字で入力します。
C	Confirm Password	パスワードを変更するときに、確認のために新しいパスワードを入力します。上記「Password」欄と同じパスワードを入力してください。

ご注意

- 設定した内容を忘れると、本機にログインできなくなります。メモを取るなどの対策をしてください。
- User ID と Password は大文字小文字を区別します。
- 次の記号が使用できます。

. - _

④ APPLY（適用）ボタン

設定した内容を本機に送信するときにクリックします。（☞ 次ページ）

メ　モ

Network Setting とユーザーのアカウントのみを初期値にして本機を起動することができます。手順は次のとおりです。

1 AC コードをコンセントから抜く。

2 本機の電源スイッチを押しながら AC コードをコンセントに差し込む。

本機が下記の設定で起動します。

IP アドレス　：192.168.14.1
ユーザー名　：admin
パスワード　：guest

ご注意

本機の他の設定内容は変更されずに起動しますが、各設定用の画面で変更できます。また、Network Setting とユーザーのアカウントの設定を変更せずに AC コードをコンセントから抜くと、Network Setting とユーザーのアカウントは元に戻ります。

■ 編集した内容を本機へ送信する

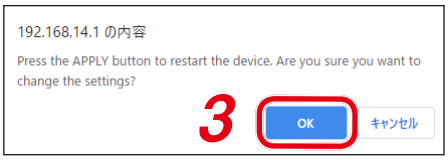
ご注意

設定を適用すると、本機は一旦リセットされ、リセット中は放送が中断されます。

1 必要に応じて、Equipment Information、Network Setting、Account 欄に設定内容を入力する。

2 APPLY ボタンをクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

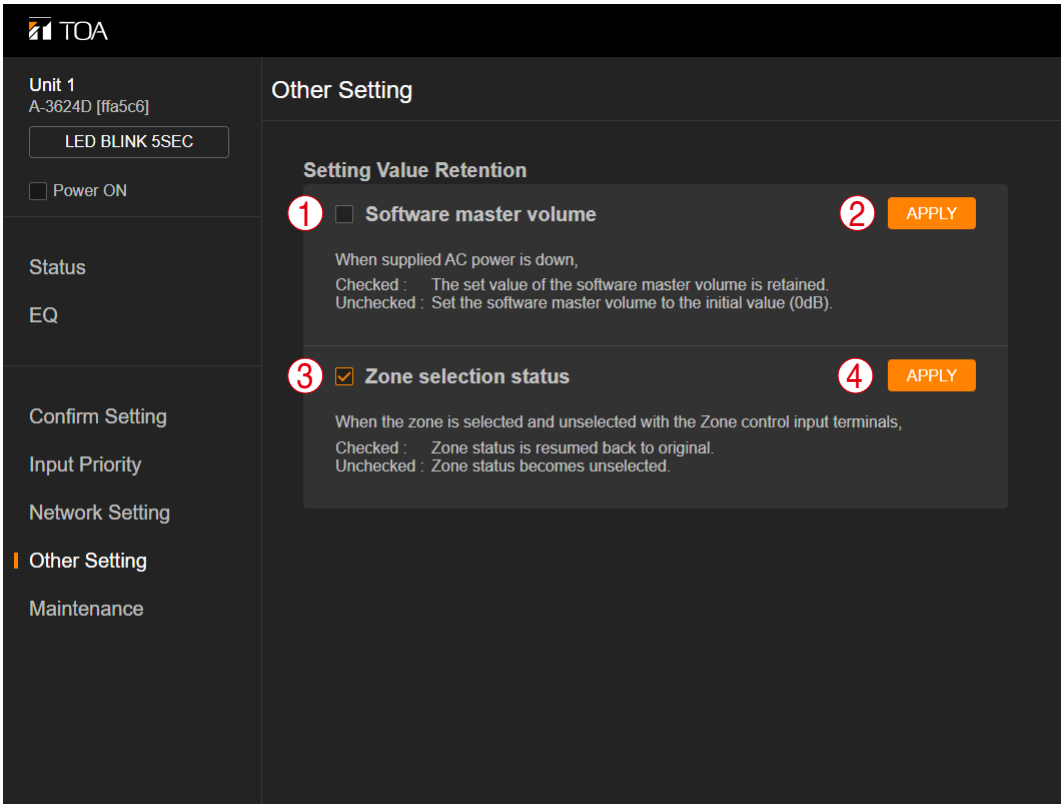


3 OK ボタンをクリックする。

設定した内容が本機に送信され、新しいネットワーク設定に従って本機が再起動します。

Other Setting 画面

ソフトウェアマスターボリュームの設定値の保持、ゾーン制御方式の設定を行います。



①ソフトウェアマスターボリューム設定値保持チェックボックス

本機の通電が停止した場合にソフトウェアマスターボリュームの設定値を保持するときに、チェックを入れた状態で APPLY ボタン②をクリックします。
本機の通電が停止した後に再度通電すると、保持した設定値で本機を使用できます。

ご注意

設定を変更したときは、APPLY ボタン②をクリックしないと、設定内容が本体に適用されません。

メ　モ

- 本機が通電しているとき（P. 4）は、チェックボックスの状態に関係なく、ソフトウェアマスターボリュームの設定値を保持します。
- 保持しないときは、チェックを外した状態で APPLY ボタン②をクリックします。
  チェックを外した状態で本機の通電が停止した後に再度通電したときには、ソフトウェアマスターボリュームの設定値は工場出荷状態の 0 dB になります。

②APPLY（適用）ボタン

ソフトウェアマスターボリューム設定値保持チェックボックス①の設定を本体に適用するときにクリックします。

③前面ゾーン選択ボタン操作記憶チェックボックス

前面ゾーン選択ボタンでゾーン選択中に、後面ゾーン制御入力端子をメイクしてからブレイクしてもゾーン選択状態を維持するときに、チェックを入れた状態で APPLY ボタン④をクリックします。
チェックが入っていると前面ゾーン選択ボタンでゾーン選択中は、後面ゾーン制御入力端子の状態によらずゾーン選択状態が維持されます。

ご注意

- 設定を変更したときは、APPLY ボタン④をクリックしないと、設定内容が本体に適用されません。
- 工場出荷状態は、チェックが入っています。
  ただし、Ver. 1.06.01 より前のファームウェアからアップデートしたときは、チェックは入っていません。

メ　モ

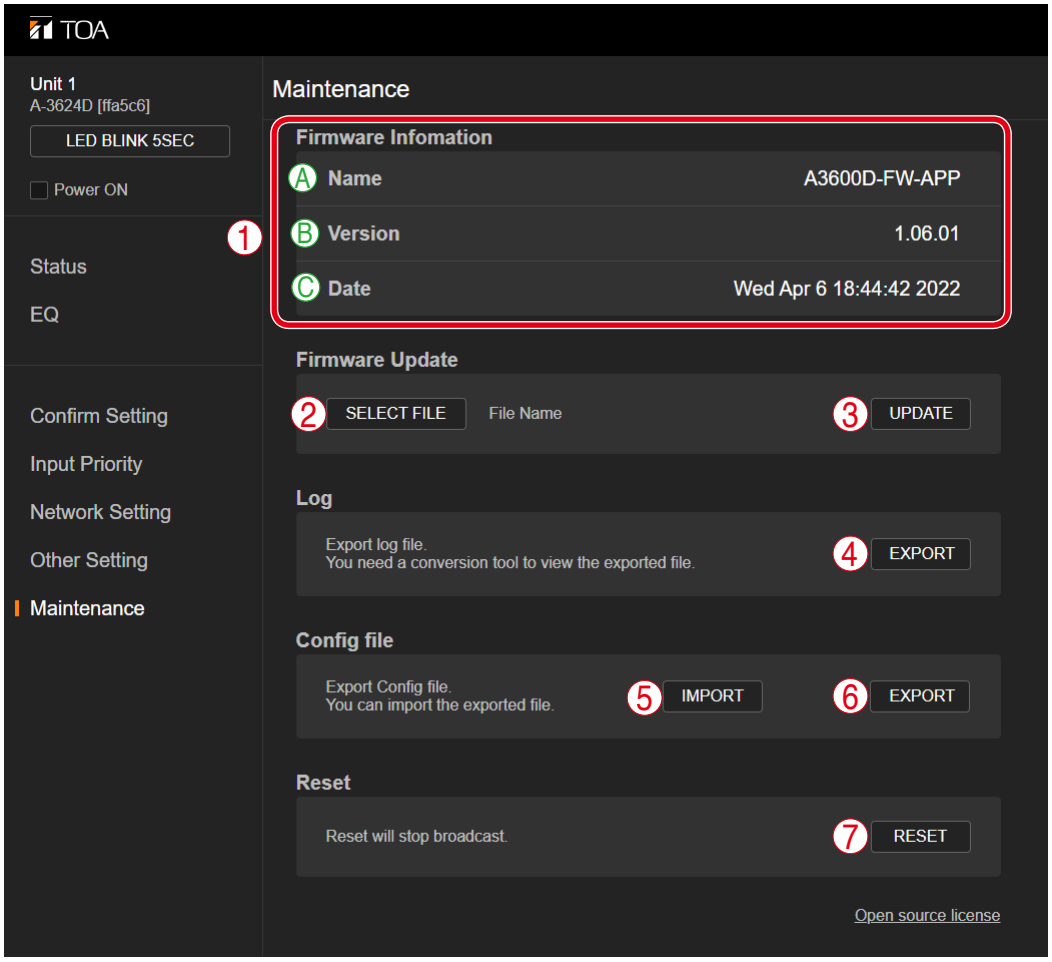
前面のゾーン選択ボタン操作を記憶させない場合は、チェックを外します。
チェックを外した状態で、APPLY ボタン④をクリックすると、前面ゾーン選択ボタンでゾーン選択中に後面ゾーン制御入力端子をメイクしてからブレイクすると、ゾーン選択状態が解除されます。

④ APPLY（適用）ボタン

前面ゾーン選択ボタン操作記憶チェックボックス③の設定を本体に適用するときにクリックします。

Maintenance 画面

Maintenance 画面では、ファームウェアの更新およびログファイルの出力を行います。



① Firmware Information（ファームウェア情報）

	名称	説明
A	Name	ファームウェアのファイル名が表示されます。
B	Version	ファームウェアのバージョン番号が表示されます。
C	Date	ファームウェアの作成日が表示されます。

② SELECT FILE（ファイル選択）ボタン

ファームウェアを更新するときにクリックして更新ファイルを選択します。

③ UPDATE（更新）ボタン

ファームウェアを更新するときクリックします。（☞ 次ページ）

ご注意

- ファームウェアの更新中は本機の放送が停止します。
- 更新が完了すると、本機が再起動します。

④ Log EXPORT（出力）ボタン

本機のログファイルをパソコンに出力するときにクリックします。（☞ P. 34）

⑤Config file IMPORT（入力）ボタン
本機の設定内容を変更するときにクリックして設定ファイルを選択します。（☞ P. 35）

ご注意

- 設定内容の変更中は本機の放送が停止します。
- 変更が完了すると、本機が再起動します。

⑥Config file EXPORT（出力）ボタン
本機の設定ファイルをパソコンに出力するときにクリックします。（☞ P. 35）

⑦RESET（リセット）ボタン
本機をリセットするときにクリックします。

ご注意

リセット中は本機の放送が停止します。

■ ファームウェアの更新のしかた

1 SELECT FILE ボタンをクリックする。

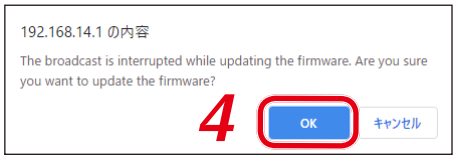
エクスプローラー画面が表示されます。

2 ファームウェアの更新ファイルを選択する。

SELECT FILE ボタンの右側に選択したファイル名が表示されます。

3 UPDATE ボタンをクリックする。

確認ダイアログが表示されます。



4 OK ボタンをクリックする。

ファームウェアアップデートが開始されます。
ファームウェアアップデートが完了すると、確認ダイアログが表示されます。

5 OK ボタンをクリックする。

ファームウェアが更新されました。

■ ログファイルの出力のしかた

1 Log EXPORT ボタンをクリックする。

エクスプローラー画面が表示されます。

メ　モ

表示されるログファイル名の初期設定は「A-3600log.bin」です。必要に応じて変更してください。

2 保存先のフォルダーを選択し、保存ボタンをクリックする。

本機のログファイルが出力され、保存されます。

ご注意

- 通電状態で最大 3000 件のログが記憶されます。
  3000 件を超えた場合は、最も古いログから順番に上書きされて消去されます。
- 無通電状態になった場合、または機器をリセットした場合は、最新の 600 件のみ記憶されます。
  600 件よりも古いログは消去されます。

メ　モ

- 出力しても、本機内のログデータは削除されません。
- 出力されたログファイルはバイナリー形式（拡張子：.bin）です。
- 出力されたログファイルを確認するには変換ツールが必要です。変換ツールは、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）からダウンロードできます。

■ 設定ファイルの入出力のしかた

● 設定ファイルの出力のしかた

1 Config file EXPORT ボタンをクリックする。

エクスプローラー画面が表示されます。

メ　モ

表示される設定ファイル名の初期設定は、「A-3600cfg.bin」です。必要に応じて変更してください。

2 保存先のフォルダーを選択し、保存ボタンをクリックする。

本機の設定ファイルが出力され、保存されます。

メ　モ

- 出力された設定ファイルはバイナリー形式（拡張子：.bin）です。
- 出力された設定ファイルを確認するにはユーティリティアプリケーションが必要です。ユーティリティアプリケーションは、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）からダウンロードできます。

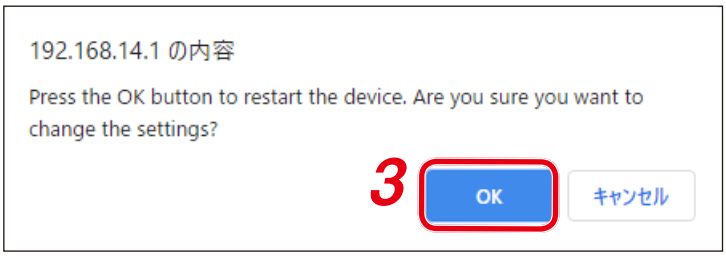
● 設定ファイルの入力のしかた

1 Config file IMPORT ボタンをクリックする。

エクスプローラー画面が表示されます。

2 入力するファイルを選択し、開くボタンをクリックする。

確認ダイアログが表示されます。



3 OK ボタンをクリックする。

設定ファイルのアップロードが開始されます。
設定ファイルのアップロードが完了すると、確認ダイアログが表示されます。

4 OK ボタンをクリックする。

機器設定内容が反映されました。

ご注意

テキスト形式のファイルはアップロードできません。

メ　モ

ログファイルを選択し、ログファイルをアップロードすることも可能です。
その場合、ログファイルに記録されている機器設定情報のみが入力されます。

優先放送機能

■ 優先放送

優先放送機能は、制御信号または音声信号が入力されたときに、それをトリガーとして指定の音声信号をミュートする機能です。
トリガーとなる信号には 6 段階の優先度が設定でき、複数のトリガーが入力されたときは、優先度の高いものが優先されます。
優先放送時は、前面の優先放送中表示灯が点灯します。

優先放送には、標準モードとマニュアルモードがあり、通電時は標準モードで起動します。モードの切り換えはブラウザーから行います。（☞ P. 16「標準モードとマニュアルモードの切り換え」）

■ 優先放送のモード

● 標準モード

標準モードで優先放送を行うときは、下記 6 つの信号をトリガーとして優先放送を起動することができます。
- 制御入力 1 ～ 4（接点）
- 音声検知 1 ～ 2（入力 1 と入力 2 の音声入力）

制御入力と音声検知の違いは次のとおりです。

	トリガーとなる信号	ミュートできる入力	設定できる放送	電源オフ時の電源起動	チャイム音の使用
制御入力	接点入力 （接点 1 ～ 4）	入力 1 ～ 7	緊急放送 優先放送	可	可
音声検知	音声入力 （入力 1 ～ 2）	音声検知に設定した以外の入力	優先放送	不可	不可

優先放送はトリガーごとに次の項目をブラウザーから編集できます。また、何もトリガーがない通常放送のときにも指定の音声信号をミュートすることができます。（☞ P. 25「設定内容を編集しているとき」）

項目	設定内容
有効／無効	有効に設定した場合は、そのトリガーが入力されたときに、優先放送を行います。
優先度	● 6 段階の優先度を設定できます。ただし、同じ優先度を複数のトリガーに設定することはできません。つまり、1 つのトリガーに対して 1 つの優先度しか設定できません。 ● 優先度が一番高いトリガーは、緊急放送に設定できます。 ※緊急放送は制御入力のみ設定可能 ● ある優先放送中に、より高い優先度のトリガーが入力された場合、高い優先度のトリガーの優先放送に切り換わります。 ● ある優先放送中に、より低い優先度のトリガーが入力された場合、低い優先度のトリガーは無視されます。
チャイムを鳴らす／鳴らさない	「鳴らす」に設定したトリガーが入力されたときに、設定されたチャイムを鳴らします。ただし、トリガーが無視された場合には、チャイムは鳴りません。 ※チャイムは制御入力のみ設定可能
ミュートする入力／ミュートしない入力	優先放送時に「ミュートする」に設定された入力をミュートします。 ※ミュート解除後、元の音量に復帰するまでに数秒かかることがあります。

ご注意
- 優先度が上位のトリガーの入力が停止した場合に、チャイム音が設定されている下位のトリガーが入力され続けているときは、優先放送が切り換わってもチャイム音を出力しません。
- 優先度の設定にかかわらず、チャイムが鳴っている間は、BUS2 への入力信号はミュートされます。

● マニュアルモード

マニュアルモードでは、ブラウザーから特定の音声信号をミュートすることができます。
本機の動作確認をするときなどに使用します。（P. 16「標準モードとマニュアルモードの切り換え」）
マニュアルモードでは本機のネットワーク接続確認表示灯が点灯します。

■ 緊急放送

優先度の一番高い優先放送を緊急放送に設定できます。（☞ P. 25「設定内容を編集しているとき」）
緊急放送に設定すると、主音量調節つまみ、ソフトウェアマスターボリューム、リモートマスターボリュームの設定値に関わらず、最大音量で放送されます*。また、チャイムも最大音量で放送され、EQ と、高音調節つまみと低音調節つまみの特性がフラットになります。
緊急放送中は前面の緊急放送中表示灯が点灯し、緊急制御出力端子がメイクされます。

*各入力音量調節つまみは有効です。

ご注意
音声検知による優先放送は、緊急放送に設定できません。

■ 通常放送

電源が入っておりトリガーが何も入力されていない状態の放送を通常放送と呼びます。

ご注意
通常放送時にチャイムを鳴らす設定はできません。

■ 制御入力による優先放送、緊急放送時と電源オン／オフの関係

[本機が電源オフ状態のとき]
- 優先放送、緊急放送が開始すると、電源オンになります。
- 優先放送中、緊急放送中に電源を切ろうとしても*、操作は無効になります。
- 優先放送、緊急放送が終了すると、電源はオフになります。ただし、優先度の高い音声検知による優先放送が重なっているときは、音声検知による優先放送が終了した後に電源がオフになります。

[本機が電源オン状態のとき]
- 優先放送、緊急放送の開始・終了に関わらず、電源オンの状態を保ちます。
- 優先放送中、緊急放送中に電源を切ろうとしても*、操作は無効になります。

* 本機前面の電源スイッチを押す、またはブラウザー画面の Power ON チェックボックスをクリックすることを指します。

■ 工場出荷時の設定

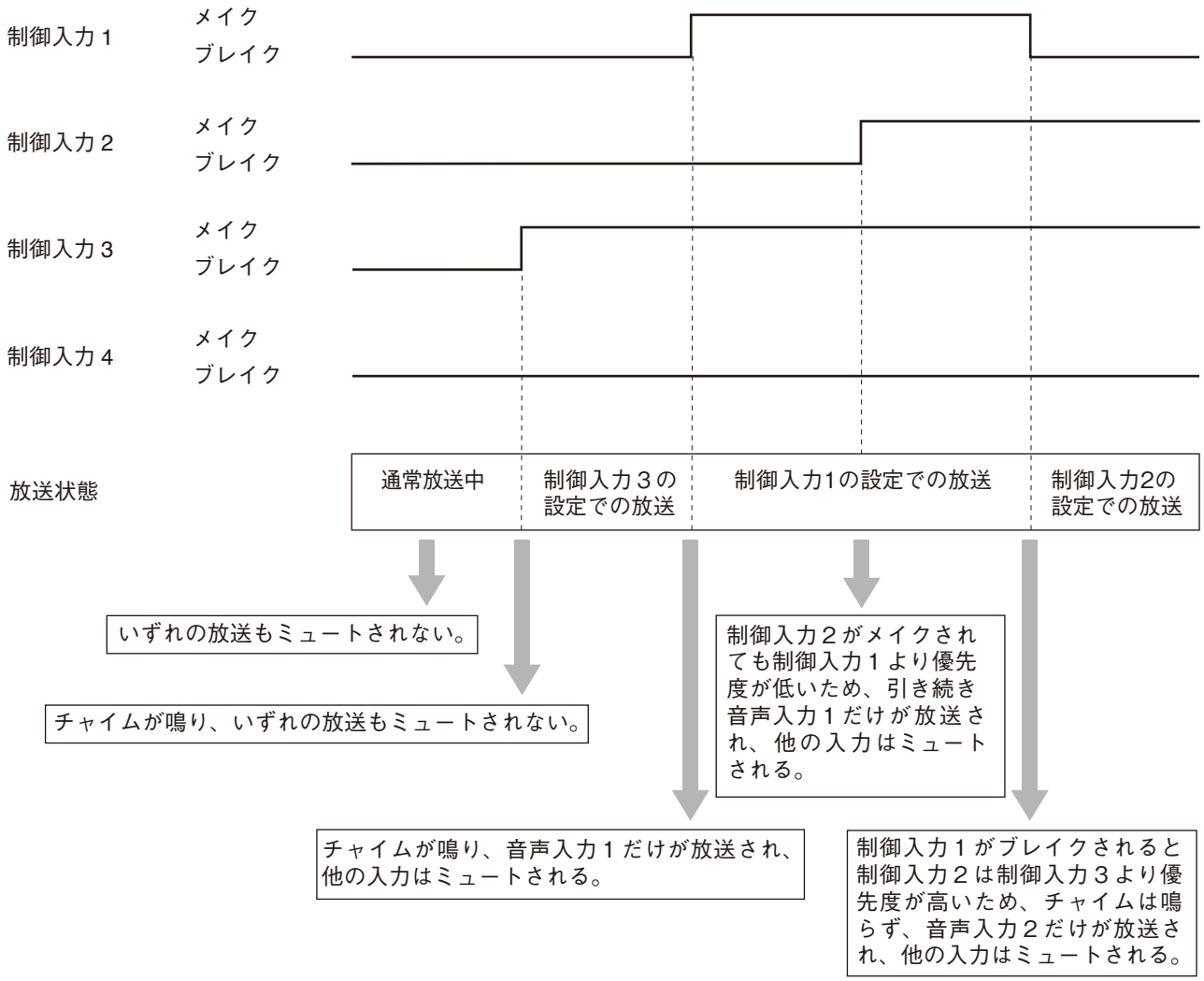
[工場出荷時の設定一覧表]

トリガー	優先度	緊急	チャイム	音声入力							状態
				1	2	3	4	5	6	7	
制御入力 1	高	未設定	●	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 2		ー	●	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 3		ー	●	●	●	●	●	●	●	●	有効
制御入力 4		ー	🔇	●	●	●	●	●	●	●	有効
音声検知（入力 1）		ー	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	無効
音声検知（入力 2）	低	ー	🔇	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	無効
通常放送	ー	ー	ー	●	●	●	●	●	●	●	ー

※ チャイム欄で「🔇」となっている入力はチャイムを鳴らさない、「●」となっている入力はチャイムを鳴らす設定です。
※ 音声入力欄で「🔇」となっている入力はミュートする、「●」となっている入力はミュートしない設定です。
※ 標準モードで起動します。
※ 背景がグレーのセルは変更できません。
※「ー」は機能が設定できないことを表します。

工場出荷状態での動作は次のとおりです。

[動作イメージ]



■ 設定例と動作イメージ

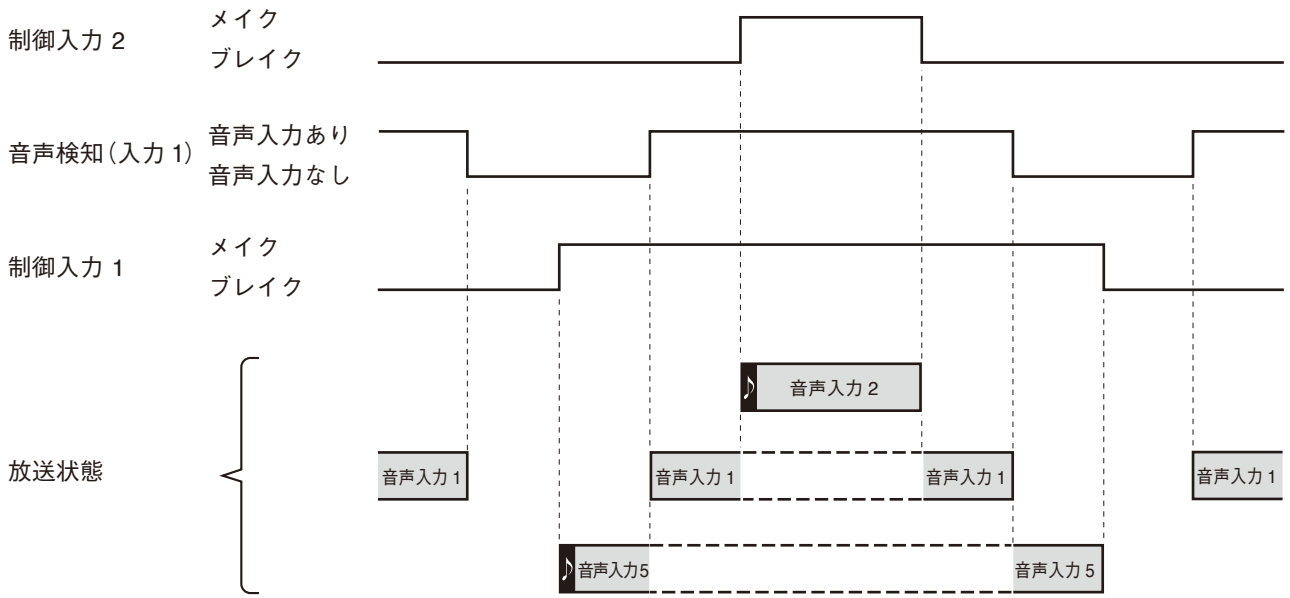
● 通電時で電源オンの場合

［設定一覧表］

トリガー	優先度	緊急	チャイム	音声入力							状態
				1	2	3	4	5	6	7	
制御入力 2	高	未設定	●	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
音声検知（入力 1）		ー	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 1		ー	●	🔇	🔇	🔇	🔇	●	🔇	🔇	有効
制御入力 3		ー	●	●	●	●	●	●	●	●	無効
制御入力 4		ー	🔇	●	●	●	●	●	●	●	無効
音声検知（入力 2）	低	ー	🔇	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	無効
通常放送	ー	ー	ー	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	ー

※ チャイム欄で「🔇」となっている入力はチャイムを鳴らさない、「●」となっている入力はチャイムを鳴らす設定です。
※ 音声入力欄で「🔇」となっている入力はミュートする、「●」となっている入力はミュートしない設定です。
※ 背景がグレーのセルは変更できません。
※「ー」は機能が設定できないことを表します。

［動作イメージ］



※ ♪は放送開始時のチャイムを表します。

※ ▭は出力中の放送を表します。

※ ⬚は起動中だが優先度が低いため、放送されていない状態を表します。

● 通電時で電源オフの場合

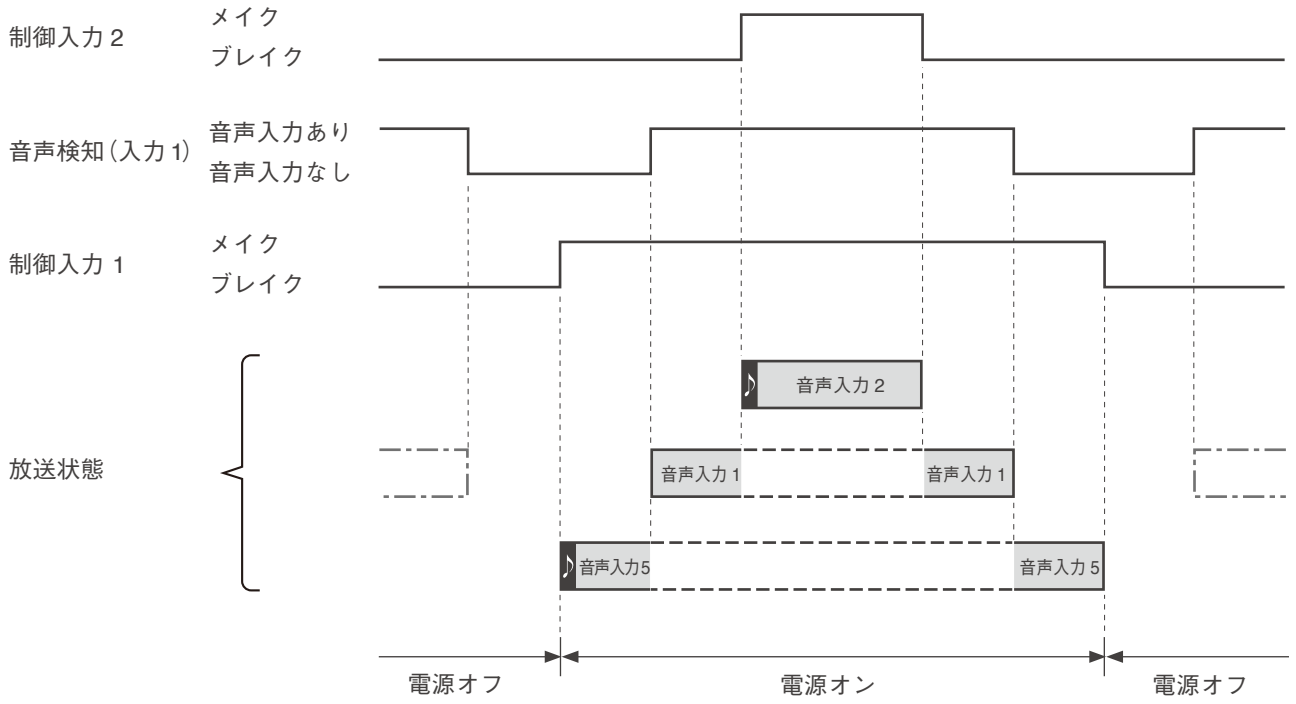
通電時で電源がオフの場合、制御入力がメイクされている間、電源がオンになります。
電源がオンになったときに優先度に応じて、設定した音声が出力されます。
電源がオフの状態で音声検知による入力があっても、電源はオンにはなりません。

［設定一覧表］

トリガー	優先度	緊急	チャイム	音声入力							状態
				1	2	3	4	5	6	7	
制御入力 2	高	未設定	●	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
音声検知（入力 1）		―	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 1		―	●	🔇	🔇	🔇	🔇	●	🔇	🔇	有効
制御入力 3		―	●	●	●	●	●	●	●	●	無効
制御入力 4		―	🔇	●	●	●	●	●	●	●	無効
音声検知（入力 2）	低	―	🔇	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	無効
通常放送	―	―	―	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	―

※ チャイム欄で「🔇」となっている入力はチャイムを鳴らさない、「●」となっている入力はチャイムを鳴らす設定です。
※ 音声入力欄で「🔇」となっている入力はミュートする、「●」となっている入力はミュートしない設定です。
※ 背景がグレーのセルは変更できません。
※「ー」は機能が設定できないことを表します。

［動作イメージ］



※ ♪は放送開始時のチャイムを表します。
※ ▭は出力中の放送を表します。
※ ▭は起動中だが優先度が低いため、放送されていない状態を表します。
※ ▭は音声検知のトリガーは入っているが、電源オフのため放送されていない状態を表します。

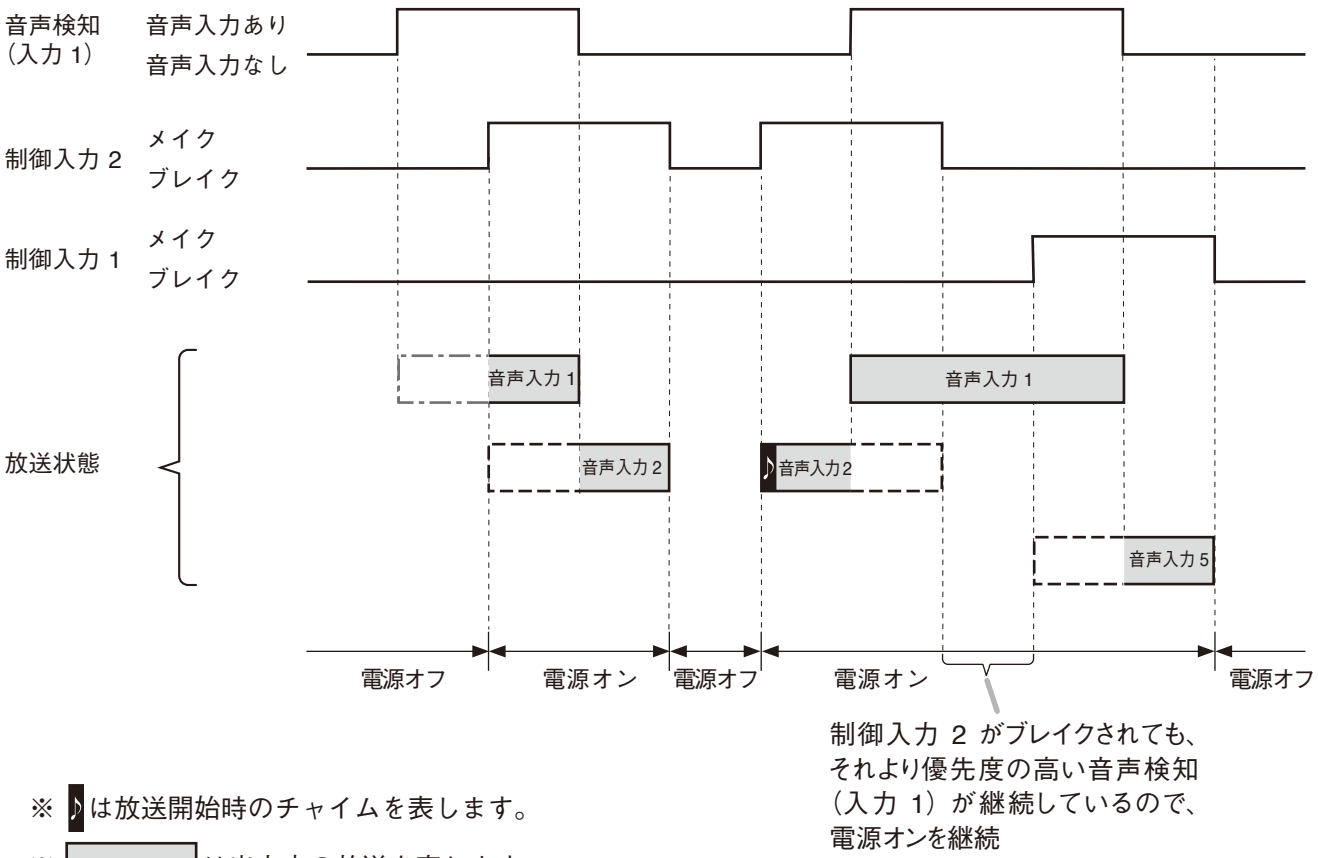
次のようなときのみ、音声検知による入力だけがある状態で電源がオンになります。
制御入力とそれよりも優先度の高い音声検知による入力が重なると、制御入力がすべてブレイクされた後も、音声検知による入力が終わるまで、電源オンの状態が継続します。

[設定一覧表]

トリガー	優先度	緊急	チャイム	音声入力							状態
				1	2	3	4	5	6	7	
音声検知（入力 1）	高	―	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 2		―	●	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	有効
制御入力 1		―	●	🔇	🔇	🔇	🔇	●	🔇	🔇	有効
制御入力 3		―	●	●	●	●	●	●	●	●	無効
制御入力 4		―	🔇	●	●	●	●	●	●	●	無効
音声検知（入力 2）	低	―	🔇	🔇	●	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	無効
通常放送	―	―	―	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	🔇	―

※ チャイム欄で「🔇」となっている入力はチャイムを鳴らさない、「●」となっている入力はチャイムを鳴らす設定です。
※ 音声入力欄で「🔇」となっている入力はミュートする、「●」となっている入力はミュートしない設定です。
※ 背景がグレーのセルは変更できません。
※「ー」は機能が設定できないことを表します。

[動作イメージ]

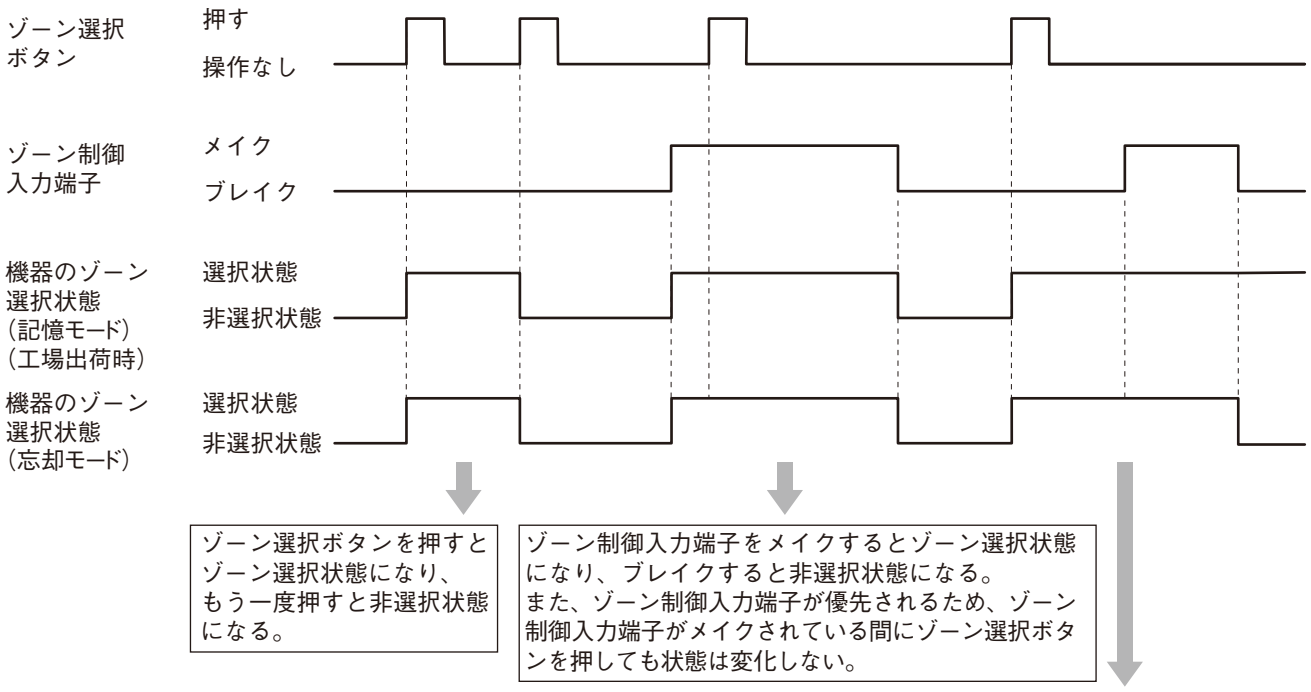


※ ♪は放送開始時のチャイムを表します。
※ ▭は出力中の放送を表します。
※ ▭は起動中だが優先度が低いため、放送されていない状態を表します。
※ ▭は音声検知のトリガーは入っているが、電源オフのため放送されていない状態を表します。

スピーカーゾーン選択の動作イメージ

ゾーン選択ボタンとゾーン制御入力端子を使用したスピーカーゾーン選択の動作は、設定により下図のように異なります。

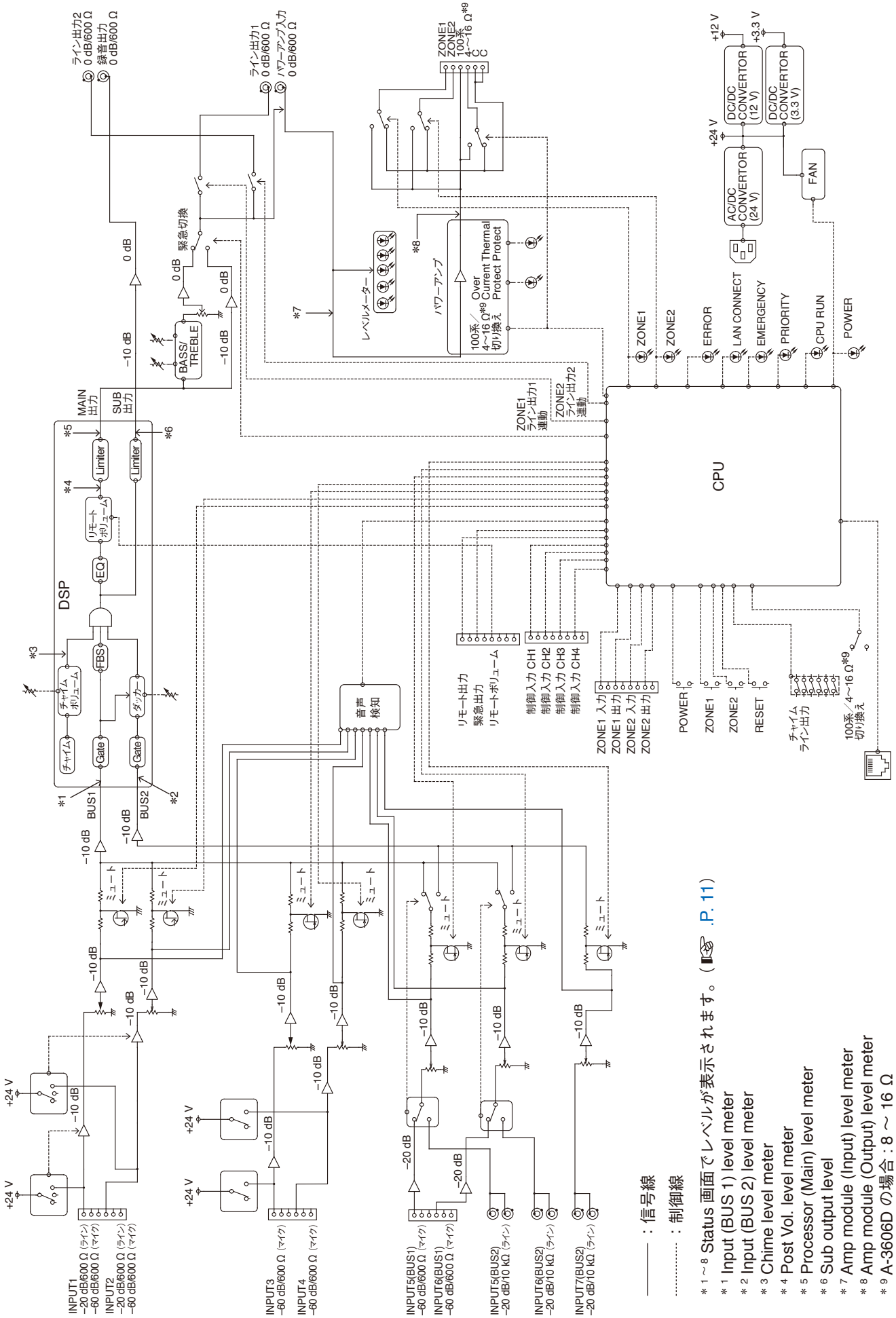
[機器のゾーン選択状態の図]



メ　モ

ゾーン１と２の選択状態はそれぞれ個別に制御できます。

ブロックダイヤグラム


ライン出力2 0 dB/600 Ω
録音出力 0 dB/600 Ω
ライン出力1 0 dB/600 Ω
パワーアンプ入力 0 dB/600 Ω
ZONE1
ZONE2
100系 4~16 Ω*9
緊急切換
0 dB
−10 dB
BASS/ TREBLE
MAIN 出力
SUB 出力
*5
*6
Limiter
*4
リモート ボリューム
EQ
DSP
*3
FBS
チャイム ボリューム
ダッカー
チャイム
Gate
*1
*2
BUS1
BUS2
ミュート
+24 V
INPUT1 −20 dB/600 Ω (ライン) −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT2 −20 dB/600 Ω (ライン) −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT3 −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT4 −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT5(BUS1) −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT6(BUS1) −60 dB/600 Ω (マイク)
INPUT5(BUS2) −20 dB/10 kΩ (ライン)
INPUT6(BUS2) −20 dB/10 kΩ (ライン)
INPUT7(BUS2) −20 dB/10 kΩ (ライン)
−20 dB
*7
レベルメーター
*8
パワーアンプ
100系／ 4~16 Ω*9 切り換え
Over Current Protect
Thermal Protect
ZONE1 ライン出力1 連動
ZONE2 ライン出力2 連動
音声 検知
リモート出力
緊急出力
リモートボリューム
制御入力 CH1
制御入力 CH2
制御入力 CH3
制御入力 CH4
ZONE1 入力
ZONE1 出力
ZONE2 入力
ZONE2 出力
POWER
ZONE1
ZONE2
RESET
チャイム ライン出力
100系／4~16 Ω*9 切り換え
CPU
ZONE1
ZONE2
ERROR
LAN CONNECT
EMERGENCY
PRIORITY
CPU RUN
POWER
+12 V
+3.3 V
+24 V
DC/DC CONVERTOR (12 V)
DC/DC CONVERTOR (3.3 V)
AC/DC CONVERTOR (24 V)
FAN
：信号線
：制御線
*1~8 Status 画面でレベルが表示されます。（☞ P. 11）
*1 Input (BUS 1) level meter
*2 Input (BUS 2) level meter
*3 Chime level meter
*4 Post Vol. level meter
*5 Processor (Main) level meter
*6 Sub output level
*7 Amp module (Input) level meter
*8 Amp module (Output) level meter
*9 A-3606D の場合：8 ~ 16 Ω

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117 ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ　https://www.toa.co.jp/

TOA 株式会社

202403